

昭和64年度大学入学者選抜
共通第1次学力試験

受 験 案 内

出願期間 昭和63年10月24日(月)～11月4日(金)
試験期日 昭和64年1月21日(土)・22日(日)

大 学 入 試 セ ン タ ー

この「受験案内」は共通第1次学力試験が終了した後も
必要となることがあるので、第2次試験が終了するまで
保管しておくこと。

この受験案内は、国立大学、公立大学及び産業医科大学に入学を志願する者が受験しなければならない共通第1次学力試験の諸手続き等具体的な事項について取りまとめたものです。

共通第1次学力試験においては、5教科を出題してこれを課しますが、大学・学部等によっては、4教科以下を課す場合がありますので、共通第1次学力試験の受験に当たっては、志望する大学の学生募集要項等をよく読んで受験してください。

共通第1次学力試験の出願に当たっては、この「受験案内」をよく読み、注意事項などを十分理解の上、誤りのないよう所定の手続きをしてください。特に、受付期間（11月4日消印有効）を過ぎた出願はいかなる理由があっても受理されませんし、必要書類が不足している場合も受理されないことがありますので注意してください。

なお、この「受験案内」には、出願に必要な書類（志願票等）も折り込まれています。

- 次の場合には共通第1次学力試験の受験を免除されることがあるので、各大学の実施要項及び募集要項により確認してください。
- ① 国公立大学の推薦入学の場合
 - ② 帰国子女、社会人などの入学志願者について特別な方法により選抜を実施する場合

昭和64年度大学入学者選抜共通第1次学力試験

受験案内

発行者	受験案内
発行年月日	昭和64年3月1日
発行場所	日本全国
目次	昭和64年度大学入学者選抜共通第1次学力試験に出願できる者は、次のいずれかに該当する者とされる。 1 昭和64年度国公立大学入学者選抜実施日程 2 出願資格 3 出願手続の概要 4 検定料の納付方法 5 出願方法 6 志願票の記入方法 7 確認はがきの送付 8 試験場の指定 9 受験票・写真票・成績請求票 10 試験期日・試験時間 11 出題教科・科目等 12 試験問題冊子の注意事項・解答用紙の様式 13 受験に当たっての注意事項 14 資料の発表 15 再試験・追試験 16 身体に障害のある入学志願者及び不慮の事故等による負傷者等に対する試験実施の際の受験特別措置及び志望大学との協議 高等学校等コード表 〔参考〕昭和64年度国立大学第2次試験実施方式・日程グループ表等
(注)	この受験案内には、志願票、検定料の納付書（3枚1組）、封筒（個人直接出願者用）を折り込んであるので、確認すること。

1 昭和64年度国公立大学入学者選抜実施日程

共通第1次学力試験	年月日	各大学が実施する第2次試験
受験案内発表、配付開始	昭和63年7月31日まで 9月1日(木)から	実施要項発表
検定料納付	9月1日(木)から 11月4日(金)まで	
出願受付	10月24日(月)から 11月4日(金)まで	
確認はがき送付(出願内容確認)	11月下旬まで	
受験票等の送付	12月15日(木)まで	募集要項発表
試験実施	12月下旬まで	
正解等を発表	昭和64年 1月21日(土)・22日(日)	
追試験実施	1月23日(月)	
	1月28日(土)・29日(日)	
	1月29日(日)まで	推薦入学(共通第1次学力試験を課さない場合)の結果発表(実施大学だけ)
	1月30日(月)から 2月8日(火)まで	出願受付
	2月18日(土)まで	2段階選抜と推薦入学(共通第1次学力試験を課す場合)の結果発表(実施大学だけ)
	2月28日(火)から	A日程・前期日程の国立大学及びA日程の公立大学が試験実施
	3月5日(日)から	B日程の国立大学及び公立大学が試験実施
	3月8日(水)以降	C日程群の公立大学が試験実施
	3月13日(月)まで	前期日程の国立大学が合格者発表
	3月16日(木)から	後期日程の国立大学が試験実施
	3月19日(日)から 3月23日(木)まで	B日程・後期日程の国立大学(B日程の公立大学もこれに準ずる)及びC日程群の公立大学が合格者発表
	3月23日(木)まで	A日程の国立大学が合格者発表(公立大学もこれに準ずる)

(注) ① 公立大学の実施日程は、一部の公立大学においては上表と異なる場合があるので注意すること。
 ② 産業医科大学の実施日程は、国立大学とはほぼ同じである。

2 昭和64年度国公立大学入学者選抜実施日程

【注意】出願資格について疑問がある場合は、出願する前

になるべく早く大学入試センターに照会すること。

(照会先 6ページ参照)

昭和64年度大学入学者選抜共通第1次学力試験に出願できる者は、次のいずれかに該当する者である。

(1) 高等学校を卒業した者及び昭和64年3月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び昭和64年3月修了見込みの者

(3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第69条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び昭和64年3月31日までにこれに該当する見込みの者

これらの者は、次のとおりである。

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び昭和64年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定したもの(注1参照)

イ 文部大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び昭和64年3月31日までに修了見込みの者

ウ 文部大臣の指定した者(注2参照)

エ 大学入学者選抜規程(昭和26年文部省令第13号)により文部大臣が行う大学入学者選抜に合格した者及び昭和64年3月31日までに合格見込みの者

オ その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(注1) 「文部大臣の指定したもの」は、次のとおりである。(昭和56年文部省告示第153号による。)

○ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるもの)を含む。に合格した者で、昭和64年3月31日までに18歳に達するもの(大韓民国の「高等学校卒業学力検定試験」等がこれに該当する)。

○ 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（國の検定に準ずるものも含む。）に合格した者を含む。）で、「東京外国语大学外国语学部附属日本語学校」、「国際学友会日本語学校」、「関西国際学友会日本語学校」又は「赴日留学生予備学校」において、我が国の大に入学するための準備教育を行う課程を修了し、昭和64年3月31日までに18歳に達するもの

（注2）「文部大臣の指定した者」の主なものは、次のとおりである。（昭和23年文部省告示第47号による。）

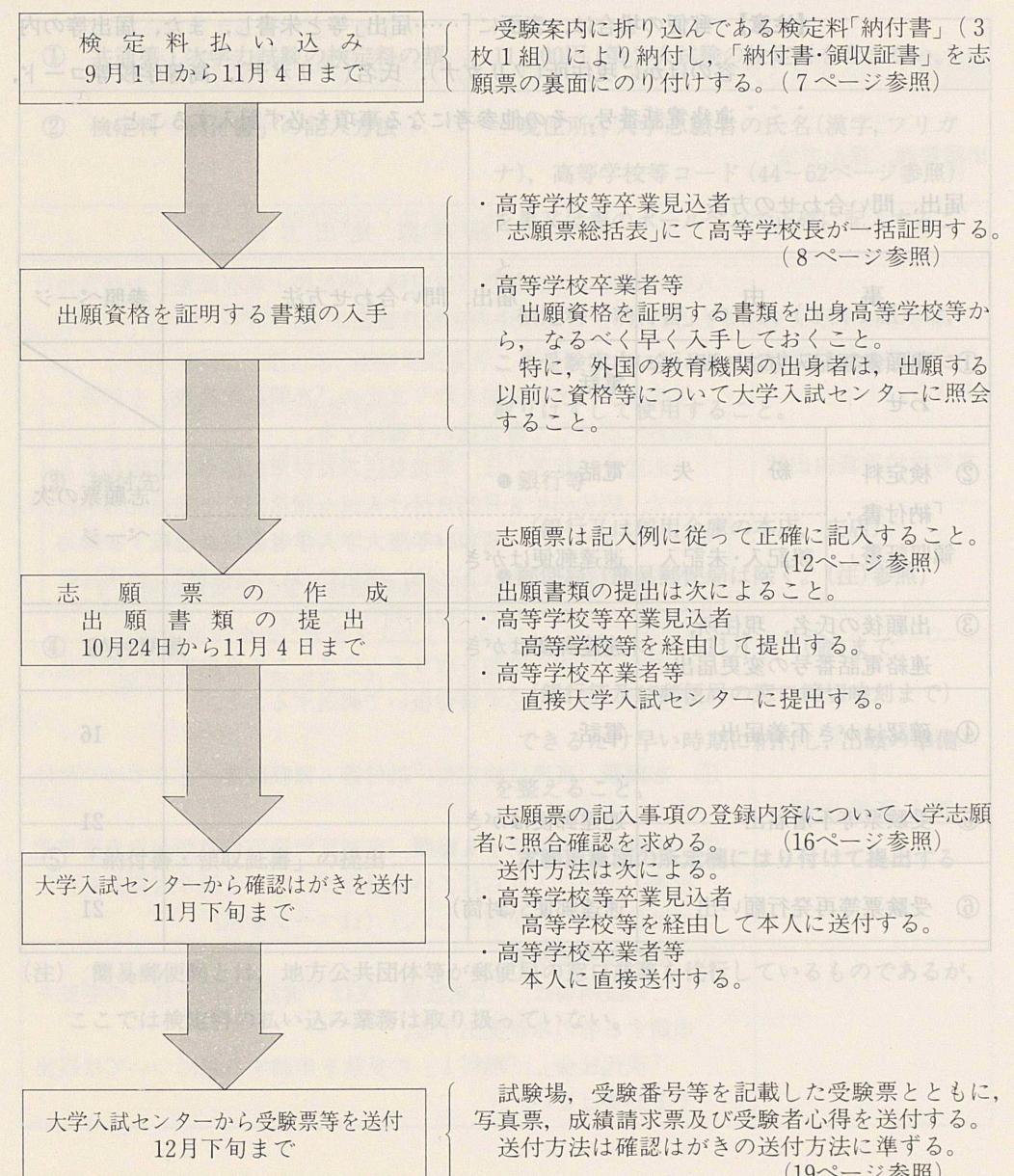
- 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による小学校、中学校若しくは高等学校の教諭の普通免許状を有する者又は教育職員免許法施行法（昭和24年法律第148号）によりこれららの免許状を有するものとみなされた者（旧教員免許令（明治33年勅令第134号）に基づく旧実業学校教員検定に関する規程（大正11年文部省令第4号）による実習科目に関する限りの実業学校教員免許状を有する者を除く。）
- スイス民法典に基づく財團法人である国際バカラレア事務局が授与する国際バカラレア資格を有する者で昭和64年3月31日までに18歳に達するもの
- 専修学校的高等課程の修業年限3年以上の課程で文部大臣が別に指定したものを文部大臣が定める日以後に修了した者及び昭和64年3月修了見込みの者
- 運輸省組織令（昭和59年政令第175号）による海員学校の本科を卒業した者及び昭和64年3月卒業見込みの者

その他旧制の教育機関の出身者の資格については、できるだけ早く大学入試センターに照会すること。

3 出願手続の概要

【注意】この受験案内の中では、入学志願者を次のように区分して記載しているので、注意すること。

- 「高等学校等卒業見込者」→昭和64年3月高等学校（盲・聾・養護学校の高等部を含む。）を卒業見込みの者
- 「高等学校卒業者等」→10ページの出願資格区分A～Fに該当する者



○ 外国において、高
入学志願者側からの届出等

連絡先 大学入試センター試験実施課
〒153 東京都目黒区駒場2丁目19-23
電話 03(465)8600
平日9時30分から17時、土曜日9時30分から12時

【注意】 郵便の場合は、表面に「……届出」等と朱書し、また、届出等の内容のほかに現住所(フリガナ)、氏名(フリガナ)、高等学校等コード、連絡電話番号、その他参考になる事項を必ず記入すること。

届出、問い合わせの方法

事由	届出、問い合わせ方法	参照ページ
① 出願書類記入方法の問い合わせ	電話	
② 検定料「納付書・領収証書」誤記入・未記入	紛失 電話 速達郵便はがき	志願票の次 ページ
③ 出願後の氏名、現住所、連絡電話番号の変更届出	速達郵便はがき	9
④ 確認はがき不着届出	電話	16
⑤ 受験票等不着届出	速達郵便はがき	21
⑥ 受験票等再発行願い出	速達郵便(封筒)	21

(注) 4 検定料の納付方法 あるものは、**法規**にて規定されています
ること。

ふるさと会員登録の方法【注意】**1** 検定料を納付せずに出願した場合、受理しない。

ふるさと会員登録の方法【注意】**2** 検定料は、出願を受理した後は、いかなる理由が(開通料)も受け取れません。あっても返還しない。

③ 必要な証明書等が添付されていないもの

出願の際は、志願票の裏面に必ず共通第1次学力試験の検定料の「納付書・領収証書」をはり付けなければならない。

① 共通第1次学力試験の検定料の額	11,000円(第2次試験の検定料を含まない。)
② 検定料「納付書」の記入方法	現住所、入学志願者の氏名(漢字、フリガナ)、高等学校等コード(44~62ページ参照)を黒又は青のボールペンで正確に記入すること。
③ 納付先	●銀行等 (銀行又は信用金庫の本店、支店) ●郵便局(簡易郵便局は除く。(注)参照)
④ 納付期限	9月1日(木)から11月4日(金)まで (銀行等及び郵便局の窓口締切時刻まで) できるだけ早い時期に納付し、出願の準備を整えること。
⑤ 「納付書・領収証書」の提出	志願票裏面の所定欄にはり付けて提出する

(注) 簡易郵便局とは、地方公共団体等が郵便局の窓口業務を代行しているものであるが、ここでは検定料の払い込み業務は取り扱っていない。

志願票裏面の所定欄にはり付けて提出する

5 出願方法

【注意】 出願方法について疑問がある場合は、なるべく早く大学入試センターに照会すること。

(照会先 6 ページ参照)

都153 東京都台東区

電話 03(465)8600

出願期間

昭和63年10月24日(月)～11月4日(金) (11月4日 消印有効)

期限厳守——11月5日以降の消印のものは、いかなる理由があっても受理しない。

出願書類、提出方法

区分	出願書類、提出方法
高等学校等卒業見込者(通信制の課程を含む。)	入学志願者は、志願票(検定料「納付書・領収証書」がはり付けてあること)を在学中の学校に提出する。 学校長は、出願書類を取りまとめ「志願票総括表」を作成し、志願票に添付して書留扱いで郵送する。
高等学校等経由出願	「志願票総括表」は、卒業見込み及び単位修得の証明をするもので、昭和63年8月25日付け入試セミナー第15号で別途高等学校長あてに送付した「昭和64年度大学入学者選抜共通第1次学力試験の出願書類の取りまとめ、提出について(依頼)」の中に折り込まれているのでそれを使用すること。
高等学校卒業者等 個人直接出願	入学志願者は次の書類を取りそろえて、この受験案内に折り込んである封筒を使って必ず書留扱いで郵送すること。 ① 志願票(裏面に検定料「納付書・領収証書」を必ずのり付けること) ② 出願資格を証明する書類(卒業証明書等の書類が出身高等学校等の封筒に入れられている場合は、できる限り封筒から出して添付することが望ましい。)(11ページ参照) ③ 単位修得証明書 この証明書は、「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」の受験を申請する者のみが提出する。 「現代社会」、「理科Ⅰ」の受験を申請する者については提出する必要はない。

(注) 1 出願書類に次のような不備があるものは、受理しないことがあるので十分注意すること。

① 志願票の記入もれ、誤記を挿入すること。

② 検定料納付済の「納付書・領収証書」がはり付けられていないもの

③ 必要な証明書等が添付されていないもの

2 志願票を大学入試センターに提出した後は、いかなる理由があってもその記入事項を変更することはできない。

3 志願票を提出した後、氏名、現住所(志願票に現住所を記入した者だけ)、連絡電話番号に変更があった場合は、次の事項を「郵便はがき」に書いて届け出ること。
(届出先 6 ページ参照)

この届出は、昭和64年1月20日(金)(共通第1次学力試験前日)までとする。

- ① 変更内容(新・旧がわかるように明示する)
- ② 氏名、現住所、連絡電話番号、高等学校等コード、高等学校名、高等学校出身者以外は出願資格
(氏名、現住所にはフリガナを付けること)
- ③ (出身学校長が発行するもの)

4 現住所変更による試験場の変更は認めないので注意すること。

5 受験票到着後に氏名を変更した場合は、受験票等の再発行が必要となるので、注意すること。(再発行 21ページ参照)

6 受験票用紙は、文部省初等中等教育局高等学校課に請求し入手すること。
(注) 合格証明書は、文部省初等中等教育局高等学校課に請求し入手すること。

7 合格通知書は、文部省初等中等教育局高等学校課に請求し入手すること。
(注) 科目合格通知書は、文部省初等中等教育局高等学校課に請求し入手すること。

「高等学校卒業者等」の出願資格区分

【注意】出願資格について疑問がある場合は、出願する前
になるべく早く大学入試センターに照会すること。

(照会先 6 ページ参照)

区分	出願資格
A	高等学校卒業者（盲学校、聾学校、養護学校の高等部を含む。）
B	高等専門学校第3学年修了者及び昭和64年3月修了見込者
C	外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び昭和64年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
D	文部大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び昭和64年3月31日までに修了見込みの者（立教英國学院、英國四天王寺学園、アルザス成城学園及び英國暁星国際学園の各高等部がこれに該当する。）
E	文部大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
F	大学入学資格検定に合格した者及び昭和64年3月31日までに合格見込みの者で、昭和64年3月31日までに18歳に達するもの <ul style="list-style-type: none"> (1) 大学入学資格検定合格者 (2) 昭和63年度大学入学資格検定に合格見込みの者 (3) 科目合格者の単位修得による昭和63年度大学入学資格検定に合格見込みの者 (大学入学資格検定で既に一部の科目に合格し、残りの受検科目に相当する科目について、在学している高等学校の定時制の課程又は通信制の課程で、昭和64年3月31日までに修得する見込みの者がこれに該当する。)

出願資格を証明する書類の種類

去式入試の票願志

高等学校卒業者及び卒業見込者
特に高等学校の「普通科」
又は「理科」を受験申請する者は、この種に付かない場合には承認されないので
必ず、必ず「入試用票願志」をもって、別冊の「國入試の票願志」を提出すること。
【注意】左表の出願資格に該当する証明書類を出願書類に
添えて提出すること。

提出する証明書類の種類
卒業証明書（出身高等学校長が発行するもの。いつ発行されたものでもよい。）
高等専門学校第3学年を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類（高等専門学校長が発行するもの。）
外国において学校教育の12年の課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類（出身学校長が発行するもの。Diplomaを複写（コピー）したものでも可。） 文部大臣の指定した者に該当するものは、検定に合格したことを証明する書類又は我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類（当該教育機関又は検定試験実施機関の長が発行するもの。）
在外教育施設の高等学校の課程に相当する課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類（立教英國学院、英國四天王寺学園、アルザス成城学園及び英國暁星国際学園の各高等部の長が発行するもの。）
出身学校等を卒業又は修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類又はこれに準ずるもの（出身学校長が発行するもの。） 国際バカロレア資格を取得した者は、国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）を複写（コピー）したもの
大学入学資格検定合格証書を複写（コピー）したもの又は合格証明書 (注) 合格証明書は、文部省初等中等教育局高等学校課に請求し入手すること。 共通第1次学力試験志願用昭和63年度大学入学資格検定受検出席票（受検の際に配される。） 大学入学資格検定科目合格通知書 (注) 科目合格通知書は、文部省初等中等教育局高等学校課に請求し入手すること。 受検科目に相当する科目の単位修得見込み証明書 (注) 単位修得見込み証明書は、在学する高等学校長に請求し入手すること。

6 志願票の記入方法

(1) 記入上の注意

ア 入学志願者は、志願票の記入例を参照し、まず「志願票控」に記入してみて、その記入内容に誤りがないことを確認した後に、「志願票」(提出用)に記入すること。

イ 「志願票」(提出用)の用紙は、この受験案内に折り込んであるものを、丁寧に取りはずして使用すること。

ウ 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消し、訂正すること。

エ 「高等学校等コード」の記入について

① 「高等学校等コード」は44~62ページの「高等学校等コード表」により記入すること。

② 高等学校等卒業者は出身の高等学校等のコードを記入すること。

オ 「現住所」の記入について

① 高等学校等卒業見込者(通信制課程を除く。)は、「現住所」の欄は記入しないこと。

② 高等学校卒業者等(通信制課程卒業見込者を含む。)は次の事項に注意し、志願票に「現住所」を必ず記入すること。

a 「現住所」は、住民登録の有無は問わないが、確認はがき、受験票等の送付先となるので、郵便物を確実に受領できるように正しく記入すること。

b 団地・アパート等に居住している者は、棟番号、戸番まで必ず記入すること。

下宿等の場合は、「○○○○方」などの肩書きを必ず記入すること。

（現住所を大学入試センターの電算機に登録する際には「カタカナ・数字等記入」欄により行うので、記入例に従い最後まで正しく記入すること。）

c 試験場は、この「現住所」に基づいて指定するので注意し、記入すること。

カ 「学科」欄

高等学校卒業者及び卒業見込者は必ず該当する文字を○で囲むこと。

特に高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者以外の者で「現代社会」

又は「理科I」を受験申請する者は、この欄に○印がない場合には承認されないので注意すること。

キ 「高等学校卒業者以外」欄

専修学校の高等課程の修了(見込み)者及び海員学校の本科の卒業(見込み)者は、「文部大臣の指定した者」の文字を○で囲むこと。

ク 「受験申請科目」欄

① 「現代社会」、「理科I」を申請できる者は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者以外の者だけである。高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者は、これらの科目は申請できないので注意すること。

② 「工業数理」、「簿記会計I・II」を申請できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者だけである。

これらの科目を申請する場合高等学校卒業者は、該当する科目の「単位修得証明書」が必要である。なお、高等学校等卒業見込者は在学する高等学校長等が「志願票総括表」により証明するので提出する必要はない。

11月5日以降	希望		
性別	男 女		
年齢	昭和64年 月 日生		
区分	普通科		
印の有無	○		
「志願票」(提出用)	用紙は、この受験案内に折り込んであるものを、丁寧に取りはずして使用すること。		
「高等学校等コード」	「高等学校等コード」は44~62ページの「高等学校等コード表」により記入すること。		
「現住所」	「現住所」を必ず記入すること。		
「受験申請科目」	① 「現代社会」、「理科I」を申請できる者は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者以外の者だけである。高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者は、これらの科目は申請できないので注意すること。 ② 「工業数理」、「簿記会計I・II」を申請できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者だけである。		
出身学校名	東京工業大学		
都道府県	東京都		
1 現代社会	2 理科I	3 工業数理	4 簿記会計I・II
5 国立	6 公立	7 私立	8 民立

(2) 志願票の記入例

11月5日以降の消印のものは受理しないので注意すること。																				
緊急の連絡の場合必要となるので、卒業見込者・卒業者等にかかわらず、必ず記入すること。																				
現住所は、住民登録の有無は問わないが、受験票等の郵便物が確実に受領できるように正しく記入すること。 試験場の指定は、この現住所に基づいて行う。																				
都・市・区・町村、町・丁目・番地・団地・棟・号・方等の間は1コマあけること。																				
(16), (17)を申請できる者は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者以外の者だけである。 高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者は、これらの科目は申請できないので注意すること。																				
(18), (19)は高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者だけが申請できる。 (18), (19)に○印を付けた者はその科目的単位修得証明書が必要である。 (高等学校等卒業見込者は、)(在学する学校で証明する。)																				
<table border="1"> <tr><td>① 高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入)</td><td>② 漢字等記入 (かい書で丁寧に記入すること。)</td><td>③ カタカナ記入 (姓と名の間は、1コマをあけ、濁点及び半濁点は1コマとする。)</td><td>④ 性別 (男1 女2)</td><td>⑤ 生年月日 昭和44年7月6日生 (明治、大正)</td></tr> <tr><td>⑥ 年号 M 明治 T 大正 S 昭和</td><td>⑦ 連絡電話番号 0425-465-8600</td><td>⑧ 郵便番号 190-00 東京都 西多摩郡 羽村町 球磨マンション5号室</td><td>⑨ 漢字等記入 (区・町村名) 羽村町 球磨マンション5号室</td><td>⑩ 都道府県名 トウキョウト</td></tr> <tr><td>⑪ 課程 全 日 制</td><td>⑫ 学科 普通科 農業科 工業科 商業科 理数科 5学以科</td><td>⑬ 卒業見込・卒業の別 1 外国での学校等 2 在外教育施設 3 文部省大臣が指定した者の者 4 大学生検定合格者 5 高等専門学校修了者 6 卒業した年 7 その他 8 163</td><td>⑭ 高等学校卒業者以外 1 全日制 2 定時制 3 通信制</td><td>⑮ 高等学校卒業者以外 1 外国での学校等 2 在外教育施設 3 文部省大臣が指定した者の者 4 大学生検定合格者 5 高等専門学校修了者 6 卒業した年 7 その他 8 174</td></tr> <tr><td>⑯ 受験申請科目 1 現代社会 2 理科 I 3 工業数理 4 簿記会計I・II</td><td>⑰ 出身学校名 東京 都道府県 羽村 高等学校 私立</td><td>⑱ 受験申請科目 1 現代社会 2 理科 I 3 工業数理 4 簿記会計I・II</td><td>⑲ 出身学校名 東京 都道府県 羽村 高等学校 私立</td></tr> </table>		① 高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入)	② 漢字等記入 (かい書で丁寧に記入すること。)	③ カタカナ記入 (姓と名の間は、1コマをあけ、濁点及び半濁点は1コマとする。)	④ 性別 (男1 女2)	⑤ 生年月日 昭和44年7月6日生 (明治、大正)	⑥ 年号 M 明治 T 大正 S 昭和	⑦ 連絡電話番号 0425-465-8600	⑧ 郵便番号 190-00 東京都 西多摩郡 羽村町 球磨マンション5号室	⑨ 漢字等記入 (区・町村名) 羽村町 球磨マンション5号室	⑩ 都道府県名 トウキョウト	⑪ 課程 全 日 制	⑫ 学科 普通科 農業科 工業科 商業科 理数科 5学以科	⑬ 卒業見込・卒業の別 1 外国での学校等 2 在外教育施設 3 文部省大臣が指定した者の者 4 大学生検定合格者 5 高等専門学校修了者 6 卒業した年 7 その他 8 163	⑭ 高等学校卒業者以外 1 全日制 2 定時制 3 通信制	⑮ 高等学校卒業者以外 1 外国での学校等 2 在外教育施設 3 文部省大臣が指定した者の者 4 大学生検定合格者 5 高等専門学校修了者 6 卒業した年 7 その他 8 174	⑯ 受験申請科目 1 現代社会 2 理科 I 3 工業数理 4 簿記会計I・II	⑰ 出身学校名 東京 都道府県 羽村 高等学校 私立	⑱ 受験申請科目 1 現代社会 2 理科 I 3 工業数理 4 簿記会計I・II	⑲ 出身学校名 東京 都道府県 羽村 高等学校 私立
① 高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入)	② 漢字等記入 (かい書で丁寧に記入すること。)	③ カタカナ記入 (姓と名の間は、1コマをあけ、濁点及び半濁点は1コマとする。)	④ 性別 (男1 女2)	⑤ 生年月日 昭和44年7月6日生 (明治、大正)																
⑥ 年号 M 明治 T 大正 S 昭和	⑦ 連絡電話番号 0425-465-8600	⑧ 郵便番号 190-00 東京都 西多摩郡 羽村町 球磨マンション5号室	⑨ 漢字等記入 (区・町村名) 羽村町 球磨マンション5号室	⑩ 都道府県名 トウキョウト																
⑪ 課程 全 日 制	⑫ 学科 普通科 農業科 工業科 商業科 理数科 5学以科	⑬ 卒業見込・卒業の別 1 外国での学校等 2 在外教育施設 3 文部省大臣が指定した者の者 4 大学生検定合格者 5 高等専門学校修了者 6 卒業した年 7 その他 8 163	⑭ 高等学校卒業者以外 1 全日制 2 定時制 3 通信制	⑮ 高等学校卒業者以外 1 外国での学校等 2 在外教育施設 3 文部省大臣が指定した者の者 4 大学生検定合格者 5 高等専門学校修了者 6 卒業した年 7 その他 8 174																
⑯ 受験申請科目 1 現代社会 2 理科 I 3 工業数理 4 簿記会計I・II	⑰ 出身学校名 東京 都道府県 羽村 高等学校 私立	⑱ 受験申請科目 1 現代社会 2 理科 I 3 工業数理 4 簿記会計I・II	⑲ 出身学校名 東京 都道府県 羽村 高等学校 私立																	

昭和64年度大学入学者選抜共通第1次学力試験

① 高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入)	② 漢字等記入 (かい書で丁寧に記入すること。)	③ カタカナ記入 (姓と名の間は、1コマをあけ、濁点及び半濁点は1コマとする。)	④ 性別 (男1 女2)	⑤ 生年月日 昭和44年7月6日生 (明治、大正)
⑥ 年号 M 明治 T 大正 S 昭和	⑦ 連絡電話番号 □□□-□□□	⑧ 郵便番号 □□□-□□□ (区・町村名) (町・丁目・番地・団地・棟・号) (方)	⑨ 漢字等記入 (区・町村名) 羽村町 球磨マンション5号室	⑩ 都道府県名 トウキョウト
⑪ 課程 全日制	⑫ 学科 普通科 農業科 工業科 商業科 理数科 5学以科	⑬ 卒業見込・卒業の別 1 外国での学校等 2 在外教育施設 3 文部省大臣が指定した者の者 4 大学生検定合格者 5 高等専門学校修了者 6 卒業した年 7 その他 8 163	⑭ 高等学校卒業者以外 1 全日制 2 定時制 3 通信制	⑮ 高等学校卒業者以外 1 外国での学校等 2 在外教育施設 3 文部省大臣が指定した者の者 4 大学生検定合格者 5 高等専門学校修了者 6 卒業した年 7 その他 8 174
⑯ 受験申請科目 1 現代社会 2 理科 I 3 工業数理 4 簿記会計I・II	⑰ 出身学校名 東京 都道府県 羽村 高等学校 私立	⑱ 受験申請科目 1 現代社会 2 理科 I 3 工業数理 4 簿記会計I・II	⑲ 出身学校名 東京 都道府県 羽村 高等学校 私立	

(注) 記入に当たっては、12, 13ページの記入上の注意、14ページの志願票の記入例を参照すること。

第1回大学入試共通選考入試申込用紙																							
7 確認はがきの送付																							
<p>【注意】 確認はがきが到着したら、直ちに登録事項に誤りがないか必ず確認すること。</p> <p>「確認はがき」は、大学入試センターが受理した志願票の記入事項を電子計算機に登録した後、その主要事項について、入学志願者に照合確認を求めるために送付するものである。</p> <p>この確認はがきは、11月下旬までに送付するので、12月3日(土)までに着かない場合は必ず届け出ること。(届出先6ページ参照)</p>																							
区分	高等学校等卒業見込者 (通信制課程卒業見込者を除く。)	高等学校卒業者等 (通信制課程卒業見込者を含む。)																					
大学入試センターからの送付方法	高等学校等を経由して本人に送付する。	本人に直接送付する。 (志願票の現住所(特にカタカナ記入欄)は正確に記入すること。)																					
登録内容に誤りがある場合	誤った箇所を「赤」で修正し、「確認はがき」を封筒にいれて速達郵便で、受領日を含めできる限り2日以内に返送すること。 (返送先6ページ参照) なお、修正した箇所について再度確認はがきは送付しない。																						
(注) 氏名の漢字の中に、大学入試センターの電子計算機に収録されていない漢字があると、氏名は慣用の字体又はカタカナで表記される。これは、登録の誤りではないので、訂正し届け出る必要はない。																							
<table border="1"> <tr><td>高大</td><td>文部省</td><td>立派</td><td>國立</td></tr> <tr><td>高大</td><td>文部省</td><td>立派</td><td>國立</td></tr> <tr><td>高大</td><td>文部省</td><td>立派</td><td>國立</td></tr> <tr><td>高大</td><td>文部省</td><td>立派</td><td>國立</td></tr> <tr><td>高大</td><td>文部省</td><td>立派</td><td>國立</td></tr> </table>				高大	文部省	立派	國立																
高大	文部省	立派	國立																				
高大	文部省	立派	國立																				
高大	文部省	立派	國立																				
高大	文部省	立派	國立																				
高大	文部省	立派	國立																				
8 目録・申請登録用紙																							
登録用紙	立派	國立	高大																				
対学年高	立	國	高																				
科学	立	公	大																				

8 試験場の指定用紙・成績請求用紙

- 各入学志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とする次ページの「試験地区区分表」に基づき、各国立大学が設定した試験場の中から大学入試センターが指定する。
- 大学入試センターが指定する試験場は、次表のとおり出願資格によって異なる。

出願資格	指定する試験場	備考
① 高等学校等卒業見込者 (通信制課程を除く。)	在学する高等学校等が所在する試験地区内の試験場	「試験地区」は原則として都道府県を単位とする。
② • 高等学校卒業者 • 高等学校通信制課程卒業見込者 • 高等専門学校第3学年修了(見込み)者 • 大学入試資格検定合格(見込み)者 • 文部大臣の指定した者等	志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場	北海道 埼玉県 神奈川県 大阪府 兵庫県 島根県 長崎県 鹿児島県 沖縄県
		及び にあっては次ページの 「試験地区区分表」で 定めるとおりとする。

- 各志願者の試験場は、受験票に記載して通知する。
- 指定された試験場以外での受験は認めない。
- 出願後の現住所変更による、試験場の変更是認めない。

試験地区区分表

(試験地区名)		北海道 石狩支庁地区		神奈川県		徳島県	
〃 空知支庁地区		新潟県		香川県		高知県	
〃 上川・宗谷・留萌支庁地区		福井県		愛媛県		岡山県	
〃 後志支庁地区		石川県		高知県		福岡県	
〃 檜山・渡島支庁地区		長崎県		佐賀県		長崎県	
〃 胆振・日高支庁地区		山梨県		長崎県		大分県	
〃 十勝支庁地区		長野県		熊本県		熊本県	
〃 根室・釧路支庁地区		岐阜県		大分県		鹿児島県	
〃 網走支庁地区		静岡県		宮崎県		宮崎県	
青岩宮秋山城	森手城	三滋京	重賀都	大宮鹿	大崎児島	大崎児島	大崎児島
福茨栄木群埼	大坂府枚方市、寝屋川市、交野市を含む。	大阪府	府	鹿児島県大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。	沖縄県 那覇地区(注1)	大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。	大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。
千葉東京	葉埼玉	奈良	和歌山鳥取	兵庫	大阪府枚方市、寝屋川市、交野市を除く。	大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。	大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。
埼玉県川口市、所沢市、入間市、狭山市、飯能市、秩父市、秩父郡、新座市、和光市、富士見市、上福岡市、坂戸市、東松山市、比企郡、入間郡を除く。	兵庫県美方郡村岡町、浜坂町、美方町、温泉町、城崎郡香住町を除く。	奈良	和歌山	大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。	沖縄県 宮古地区(注2)	大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。	大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。
埼玉県川口市、所沢市、入間市、狭山市、飯能市、秩父市、秩父郡、新座市、和光市、富士見市、上福岡市、坂戸市、東松山市、比企郡、入間郡及び神奈川県川崎市、横浜市緑区・港北区・鶴見区を含む。	兵庫県美方郡村岡町、浜坂町、美方町、温泉町、城崎郡香住町を含む。	島根	岡山	鹿児島県大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。	沖縄県 石垣地区(注3)	大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。	大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。
島根県鹿足郡を含む。	島根県	広島	山口	鹿児島県大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。	島根県	鹿児島県大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。	鹿児島県大島郡与論町、知名町、和泊町を除く。

- (注) 1 沖縄県「那覇地区」は、石川市、糸満市、浦添市、沖縄市、宜野湾市、具志川市、那覇市、名護市、国頭郡、島尻郡、中頭郡をいい、鹿児島県大島郡与論町・知名町・和泊町を含む。
 2 沖縄県「宮古地区」は、平良市、宮古郡をいう。
 3 沖縄県「石垣地区」は、石垣市、八重山郡をいう。

宝証の歴史 8

成績請求票 大学出願用紙とその裏表題類 (8)

(1) 受験票等の送付

受験票、写真票及び成績請求票は、受験者心得とともに12月下旬までに送付する。

○ 大学入試センターからの送付方法

区 分	送付方法
高等学校等卒業見込者 (通信制課程を除く。)	高等学校等を経由して本人に送付する。
高等学校卒業者等 (通信制課程卒業見込者を含む。)	本人に直接送付する。

○ 受験票、写真票の受領後の取り扱い

区 分	受験票	写真票
① 試験当日の持参	必ず持参すること。	必ず持参して、試験室で提出すること。
② 注意事項の熟読	裏面に記載されている注意事項をよく読んでおくこと。	参考
③ 写真のはり付け	受験票及び写真票の写真欄には、同一の写真(カラーでも可)を全面にのり付けをして、丁寧にはり付けておくこと。(写真の大きさは、縦4cm・横3cm、試験日前3か月以内に撮影した無帽上半身のもの。なお、受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡を着用して撮影したもの。)	参考
④ 氏名の記入	自署欄に、受験者本人が、氏名を黒又は青のボールペンであらかじめ自署しておくこと。(この署名は、答案の署名と照合することがある。)	参考
⑤ 第2次試験受験時の持参、入学手続き時の提出	第2次試験受験時及び入学手続きの際にも必ず持参すること。	参考

(2) 第2次試験等における共通第1次学力試験受験票の取り扱い

第2次試験受験の際、当該大学の受験票の他、共通第1次学力試験の受験票を提示しなければならない。また、入学手続きの際にも当該大学の定める所定の書類の他に共通第1次学力試験受験票を提出し、当該大学はこれに入学手続きが完了したことを示す印を押すこととなるので紛失、汚損等のないよう特に注意すること。

(3) 成績請求票の第2次試験出願大学への提出について

成績請求票は、各大学の第2次試験に出願する際、当該大学の出願書類にはり付けて提出するものである。

成績請求票は4種類計4枚あり、それぞれの使用区分は下表のとおりである。

各大学への出願は、この枚数の範囲に限られる。

成績請求票の種類	枚 数	使 用 区 分 (出願する大学)
A 前 64共通第1次成績請求票 A 日程・前期日程用	1枚	A日程又は前期日程で試験を実施する大学・学部
B 後 64共通第1次成績請求票 B 日程・後期日程用	1枚	B日程又は後期日程で試験を実施する大学・学部
C 種類未定 64共通第1次成績請求票 C 日程群用	1枚	C日程群で試験を実施する大学・学部
2募 第2次募集用	1枚	定員一部留保第2次募集 又は欠員補充第2次募集を実施する大学・学部

① 「A前」は、A日程で試験を実施する大学・学部又は前期日程で試験を実施する大学・学部に出願する際、出願書類にはり付けて提出する。

「B後」は、B日程で試験を実施する大学・学部又は後期日程で試験を実施する大学・学部に出願する際、出願書類にはり付けて提出する。

「C」は、C日程群で試験を実施する大学・学部に出願する際、出願書類にはり付けて提出する。

② 各大学の出願書類に成績請求票をはるに当たっては、当該大学・学部の試験がいずれの試験実施日程(群)に属しているかを各大学の募集要項等により十分確認し、誤りのないように使用すること。

(注) A日程の大学・学部と前期日程の大学・学部への出願又はB日程の大学・学部と後期日程の大学・学部への出願はできないので注意すること。(例えば、A日程の大学・学部に出願する者は、B日程の大学・学部か後期日程の大学・学部とC日程群の大学・学部にしか出願できない。)

③ 「2募」は、第2次募集を実施する大学・学部に出願する際、出願書類にはり付けて提出する。

第2次募集には「定員一部留保第2次募集」と「欠員補充第2次募集」があり、このうちどちらか一方に1回しか出願できない。

2 沖縄県「宮古地区」は、平良市、宮古郡をいう。

3 沖縄県「石垣地区」は、石垣市、八重山郡をいう。

成績請求票の形態は、次のとおりである。

C 64 共通第1次成績請求票 C 日程群用	1 共通第1次成績請求票の記載事項は、次のとおりである。 受験番号—試験場コード—発行回数 氏名
1001A-20001Y-1 (コマハ"タロウ) 駒場 太郎	2 この成績請求票は、出願する際、当該大学の出願書類の所定欄にはり付けて提出するものである。 出願するまで大切に保管すること。 3 出願に当たっては裏面の使用区分に注意すること。
B 後 64 共通第1次成績請求票 B 日程・後期日程用	
1001A-20001Y-1 (コマハ"タロウ) 駒場 太郎	
A 前 64 共通第1次成績請求票 A 日程・前期日程用	
1001A-20001Y-1 (コマハ"タロウ) 駒場 太郎	
2募 第2次募集用	
1001A-20001Y-1 (コマハ"タロウ) 駒場 太郎	

(4) 受験票、写真票、成績請求票及び受験者心得が不着の場合の届出

受験票、写真票、成績請求票及び受験者心得が、昭和63年12月26日(月)までに到着しなかった場合は、至急、次の内容を明記し「速達郵便はがき」により届け出ること。

(届出先 6ページ参照)

- ① 受験票等が不着であること。
- ② 氏名(フリガナ)、現住所(フリガナ)、連絡電話番号、高等学校等コード、高等学校名(高等学校出身者以外の者は出願資格)

(注) 大学入試センターは、この届出を受けた場合には、不着の事由等を調査の上、受験票等を改めて送付する。

(5) 受験票・写真票・成績請求票の再発行

再発行は原則として行わない。

ただし、次の事由がある場合だけ再発行を行う。

- ① 氏名に変更があった場合
- ② 氏名、性別、生年月日に誤記があった場合
- ③ 受験票、写真票、成績請求票を紛失したり、汚損したりした場合

はマークシート方式による。

(3) (注) ア 再発行した受験票等は、当初発行したものと用紙の色が異なるので注意すること。
イ 再発行を受けた場合には、当初発行の受験票、写真票、成績請求票は無効と
なるので絶対に使用してはならない。

(6) 再発行申請の方法

ア 共通第1次学力試験受験前
「再発行申請書」(様式は問わない)に次の事項を明記し、610円切手(書留・速達料金を含む)をはった返信用封筒(長形3号:縦23.5cm、横12cm、表面に現住所・氏名を記入したもの)を同封の上、速達郵便で申請すること。(提出先6ページ参照)
この場合、センター宛の封筒の表面に「受験票等再発行願」と朱書すること。

- ① 再発行するものの種別(受験票、写真票、成績請求票[A前、B後、C、2枚])
のいずれであるか)
- ② 再発行申請事由(氏名変更、紛失、汚損等)
- ③ 氏名(フリガナ)、現住所(フリガナ)、連絡電話番号、高等学校等コード、高等
学校名(高等学校出身者以外の者は出願資格)

イ 共通第1次学力試験受験後

受験票の再発行を共通第1次学力試験受験後に申請する場合は、アの書類のほか次の
ものを同封すること。
成績請求票だけの再発行の場合には、アの書類だけでよい。

- ① 写真(写真の大きさは、縦4cm、横3cm、申請日前3か月以内に撮影した無帽上
半身のもの。なお、受験時に眼鏡を着用した者は、眼鏡を着用して撮影したもの。
当初の受験票に使用した写真と同一のものが望ましい。)
_____ 1枚
- ② 署名(縦1cm、横4.5cmの白紙に、氏名を黒又は青のボールペンで自署したもの。
大学・学部に出願する者は、各書類の大学・学部欄に記入)
_____ 1枚

ウ 大学入試センターは、申請事由を審査の上再発行し、本人に送付する。
このうちはどちらか一方に1回しか出願できない。

(注) 10 試験期日・試験時間

については、「数学」120点、「数学II」90点、「工業数理」「簿記会計I・II」も同
2日間にわたり実施する。使用単位表は、国際単位表(S.I.)を基準としたもの。
3 「工業数理」「簿記会計I・II」は「数学」の試験時間中に選択算各(約60分)のとし

試験期日	試験教科	試験時間
昭和64年 1月21日(土)	国語	13:00 — 14:40
	理系	15:30 — 16:30
1月22日(日)	数学	10:00 — 11:40
	外國語	13:00 — 14:40
	社会	15:30 — 16:30

(注) 試験時間に遅刻したり、試験場を間違えたりしないよう十分注意すること。

11 出題教科・科目等

- (1) 共通第1次学力試験の出題は、高等学校学習指導要領に準拠して行う。
出題教科・科目等は次ページの表のとおりである。
- (2) 共通第1次学力試験においては、5教科を出題し、これを課すが、大学・学部等によって
は、4教科以下を課す場合があるので、共通第1次学力試験の受験に当たっては、志望す
る大学の実施要項及び募集要項をよく読んで受験すること。
なお、4教科以下を受験する者は、受験する教科の入室時刻(受験票送付の際に同封す
る「受験者心得」に記載してある。)に間に合うように試験場に行くこと。
- (3) 共通第1次学力試験は、主として多肢選択による客観式の検査方法により出題し、解答
はマークシート方式による。

(4) 出題教科・科目等

教科	試験時間(配点)	出題科目	出題方法等	科目選択の方法
国語	100分(200点)	「国語Ⅰ」・「国語Ⅱ」		
社会	60分(100点) 再発行金を含む 記入したうえで申請すること。 この場合	「倫理」・「政治・経済」 「日本史」 「世界史」 「地理」 「現代社会」	左記出題科目の5科目のうちから1科目を試験室で選択し、解答する。	
数学	100分(200点)	「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」 「数学Ⅰ」・「工業数理」 「数学Ⅰ」・「簿記会計Ⅰ」・「簿記会計Ⅱ」	左記出題科目の3科目のうちから1科目を選択し、解答する。 この場合、「数学Ⅰ」・「工業数理」又は「数学Ⅰ」・「簿記会計Ⅰ」・「簿記会計Ⅱ」を選択解答することができる者は、高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外の者で、かつ、共通第1次学力試験の出願時にその科目的受験を申請し、承認された者に限る。	
理科	60分(100点)	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 「化学」 「生物学」 「地学」 「理科Ⅰ」	左記出題科目の5科目のうちから1科目を試験室で選択し、解答する。	
外国語	100分(200点)	「英語Ⅰ」・「英語Ⅱ」 「ドイツ語」 「フランス語」	「英語Ⅰ」・「英語Ⅱ」とこれに準じた「ドイツ語」及び「フランス語」のうちから1科目を試験室で選択し、解答する。	

(注) 1 「社会」及び「理科」の各出題科目の配点は、いずれも100点とするが、「数学」については、「数学Ⅰ」120点、「数学Ⅱ」80点(「工業数理」「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」も同じ)とする。

2 「工業数理」の使用単位系は、国際単位系(SI)に統一する。

3 「工業数理」「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」は「数学」の試験時間中に選択解答るものとして試験が行われるので、他の科目と同様に、電子式卓上計算機、そろばん、グラフ用紙、定規等の補助具の使用を認めない。

4 ① 「現代社会」「理科Ⅰ」「工業数理」及び「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」を選択しようとする者は、出願の際に志願票で受験申請すること。

② 「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」を受験申請する者は、単位修得証明書を提出しなければならない。(8ページ参照)

③ ①に掲げる科目を受験することが認められた者(受験票に表示する。)は、試験当日他の科目に変更して解答することはできない。

① 氏名(フリガナ)及び英字名(姓と名を記入し、姓の前に名を記入すること)、会員登録コード(数字及び英字を記入すること)、会員登録用紙(会員登録用紙)にマークすること。
② 氏名欄、試験場コード欄
③ 氏名(フリガナ)及び試験場コード(数字及び英字を記入すること)。

4 受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。
5 試験番号は、1種会場編成用紙(受験票用紙)と1種会場用紙(受験票用紙)に記載される。
6 会員登録用紙(会員登録用紙)にマークせよ。

7 会員登録用紙(会員登録用紙)の記入欄に記入する。
8 会員登録用紙(会員登録用紙)の記入欄に記入する。

9 会員登録用紙(会員登録用紙)の記入欄に記入する。

10 会員登録用紙(会員登録用紙)の記入欄に記入する。

11 会員登録用紙(会員登録用紙)の記入欄に記入する。

12 会員登録用紙(会員登録用紙)の記入欄に記入する。

13 会員登録用紙(会員登録用紙)の記入欄に記入する。

(4) 12 試験問題冊子の注意事項・解答用紙の様式

同様に II・I 普及試験「職業工」点08 II学年、点09 I学年、点10 VC2

- (1) 試験当日受験者に配付される問題冊子は次のとおりとなっている。

教 科	問題冊子の種類
国語	「国語」一冊
理 科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目合わせて一冊 「理科I」一冊
数 学	『数学I』・『数学II』一冊 『数学I』・『工業数理』一冊
外 国 語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」の3科目合わせて一冊
社 会	『倫理』・『政治・経済』、『日本史』、『世界史』、『地理』の4科目合わせて一冊 「現代社会」一冊

(注) 「理科I」・「数学I」・「工業数理」・「数学I」・「簿記会計I・II」及び「現代社会」の問題冊子は、その科目の受験を承認された者のみ配付される。

- (2) 各教科の問題冊子の表紙には、注意事項が書かれているので、あらかじめ問題冊子の注意事項（見本・27~35ページ）により十分理解しておくこと。

- (3) 共通第1次学力試験の解答はマークシート方式により行われる。ことができる者は、高等解答用紙は、各教科それぞれ1枚が配付される。
解答科目のマーク、受験番号のマークを間違えないよう、あらかじめ解答用紙の様式（見本・28~36ページ）により十分理解しておくこと。

特に、数学の解答用紙の第2面では3問出題されるうち、解答する問題2問を試験室で選択し解答することとなるので、選択問題番号のマークを間違えないよう注意すること。

国語

(本頁) 右欄の欄用紙範囲

- ① 問題冊子の注意事項（見本）

理科 国語 (200点 100分)	
注意事項	受験番号欄
1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。	2 この問題冊子は ページある。 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3 監督者の指示に従って、解答用紙の下記の該当欄にそれぞれ正しく記入し、マークせよ。	① 受験番号欄 受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。 ② 氏名欄、試験場コード欄 氏名(フリガナ)及び試験場コード(数字及び英字)を記入すること。
4 受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。	5 解答は、解答用紙の解答欄にマークせよ。例えば、20と表示のある間に對して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号20の解答欄の③にマークせよ。解答科目マーク欄・解答科目名欄

(例)	
解答番号	解 答 欄
20	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
7 試験終了後、問題冊子を持ち帰ること。

(例)	
20	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。	8 試験終了後、問題冊子を持ち帰ること。

② 解答用紙の様式（見本）

国語 解 答 用 紙									
氏名(フリガナ)、試験場コードを記入せよ。									
(1) 試験当日受験者に配付される問題冊子の注意事項・解答用紙の様式									
(2) 各教科の問題冊子の表紙には、注意事項が書かれています。									
この解答用紙は、各教科の問題冊子の表紙に記載された注意事項を記入する用紙です。									
受験番号欄									
受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークせよ。									
受験番号									
千位	百位	十位	一位	英字	受験番号	受験番号	受験番号	受験番号	受験番号
-	0	0	0	6	1	2	3	4	5
1	0	1	1	1	6	1	2	3	4
2	0	2	2	2	6	1	2	3	4
3	0	3	3	3	6	1	2	3	4
4	0	4	4	4	6	1	2	3	4
5	0	5	5	5	6	1	2	3	4
6	0	6	6	6	6	1	2	3	4
7	0	7	7	7	7	1	2	3	4
8	0	8	8	8	8	1	2	3	4
9	0	9	9	9	9	1	2	3	4
(マーク例)									
良い例		悪い例							
● ○ ○ ○									
No. 1988 大学入試センター試験									

問題冊子の注意事項																					
(1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。																					
2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりである。																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>出題科目</th> <th>ページ</th> <th>選択方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物理</td> <td>~</td> <td rowspan="4">左の4科目のうちから1科目を選択し、解答せよ。</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td>~</td> </tr> <tr> <td>生物</td> <td>~</td> </tr> <tr> <td>地学</td> <td>~</td> </tr> </tbody> </table>										出題科目	ページ	選択方法	物理	~	左の4科目のうちから1科目を選択し、解答せよ。	化学	~	生物	~	地学	~
出題科目	ページ	選択方法																			
物理	~	左の4科目のうちから1科目を選択し、解答せよ。																			
化学	~																				
生物	~																				
地学	~																				
3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。																					
4 監督者の指示に従って、解答用紙の下記の該当欄にそれぞれ正しく記入し、マークせよ。																					
① 受験番号欄																					
② 氏名欄、試験場コード欄																					
③ 氏名(フリガナ)及び試験場コード(数字及び英字)を記入すること。																					
④ 解答科目マーク欄・解答科目名欄																					
⑤ 受験番号及び解答する科目が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。																					
6 解答は、解答用紙の解答欄にマークせよ。例えば、20と表示のある問い合わせして③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号20の解答欄の③にマークせよ。																					
7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。																					
8 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。																					

理 科

① 問題冊子の注意事項（見本）

理 科	物 理	化 学	生 物	地 学	(100点 60分)
解 答 欄	解 答 欄	解 答 欄	解 答 欄	解 答 欄	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	
26	27	28	29	30	
51	52	53	54	55	
76	77	78	79	80	
81	82	83	84	85	
86	87	88	89	90	
91	92	93	94	95	
96	97	98	99	100	

- ① 受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。
- ② 氏名欄、試験場コード欄
- ③ 氏名(フリガナ)及び試験場コード(数字及び英字)を記入すること。
- ④ 解答科目マーク欄・解答科目名欄
- 解答する科目に一つマークし、さらにその科目名を記入すること。
- 5 受験番号及び解答する科目が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。
- 6 解答は、解答用紙の解答欄にマークせよ。例えば、20と表示のある問い合わせして③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号20の解答欄の③にマークせよ。

(例)	解 答 欄
20	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
- 8 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

② 解答用紙の様式（見本）

理科 解答用紙									
注意事項 1 受験番号、氏名(フリガナ)、試験場コード、解答科目をマークし、記入しない。 2 訂正は、消しゴムできれいに消し、消しきずを残してはいけない。 3 所定欄以外にはマークしたり、記入したりしてはいけない。 4 汚したり、折りまげたりしてはいけない。									
受験番号					解 答 棚				
千位	百位	十位	一位	英字	1	2	3	4	5
-	0	0	0	A	6	7	8	9	0
0	1	0	1	B	a	b	c	d	
2	2	2	2	C	1	2	3	4	5
3	3	3	3	D	6	7	8	9	0
4	4	4	4	E	a	b	c	d	
5	5	5	5	F	1	2	3	4	5
6	6	6	6	G	6	7	8	9	0
7	7	7	7	H	a	b	c	d	
8	8	8	8	I	1	2	3	4	5
9	9	9	9	J	6	7	8	9	0
10	10	10	10	K	a	b	c	d	
(マーク例) 良い例 悪い例									
C 1988 大学入試センター									

数学

① 問題冊子の注意事項（見本）

数学 [数学Ⅰ 数学Ⅱ] (200点 100分)

注意事項

1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。

2 出題科目、ページ及び問題の選択方法は、下表のとおりである。

出題科目	ページ	問題の選択方法
数学Ⅰ	～	数学Ⅰは、問題①, ②, ③を全問解答せよ。
数学Ⅱ	～	数学Ⅱは、問題④, ⑤, ⑥のうち、「代数・幾何」、「基礎解析」及び「確率・統計」から2問を選択し、解答せよ。

3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。

4 監督者の指示に従って、解答用紙の下記の該当欄にそれぞれ正しく記入し、マークせよ。

① 受験番号欄

受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。

② 氏名欄、試験場コード欄

氏名(フリガナ)及び試験場コード(数字及び英字)を記入すること。

③ 解答科目マーク欄・解答科目名欄、選択問題番号マーク欄

第1面には、解答する科目(数学Ⅰ 数学Ⅱ)にマークし、さらにその科目名(数学Ⅰ 数学Ⅱ)を記入すること。

第2面の選択問題番号には、試験開始後、解答する問題を決めたあとでマークすること。

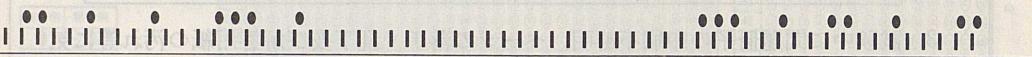
5 受験番号、解答する科目及び選択問題番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。

6 試験開始後、2ページ及び3ページの「解答上の注意」をよく読むこと。

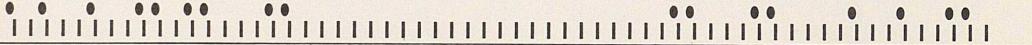
7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。

8 試験終了後、問題冊子を持ち帰ること。

② 解答用紙の様式（見本）

数学 解 答 用 紙・第1面	
氏名(フリガナ)、試験場コードを記入せよ。 フリガナ 氏名	
解答する科目に一つマークし、さらにその科目名を記入せよ。 解答科目マーク 数学 著作 数値 計算 I II I 理 I II 0 0 0	
注意事項 1 受験番号、氏名(フリガナ)、試験場コード、解答科目をマークし、記入しなさい。 2 問題④、⑤、⑥の解答欄は、第2面にある。 3 訂正は、消しゴムで消し、消しきずを残してはいけない。 4 所定欄以外にはマークしたり、記入したりしてはいけない。 5 汚したり、折りまげたりしてはいけない。	
受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークせよ。 受験番号 千位 百位 十位 一位 英字 0 0 0 A 1 1 1 B 2 2 2 C 3 3 3 D 4 4 4 E 5 5 5 F 6 6 6 G 7 7 7 H 8 8 8 I 9 9 9 J	
(マーク例) 良い例 悪い例  	
	

*数学Iの解答には、この第1面を使用すること。

数学 解 答 用 紙・第2面	
「数学II」の解答には、符号①を使わないこと。 「工業数理」の解答には、記号②を使わないこと。 「簿記会計I・II」の解答には、記号③④⑤⑥を使わないこと。	
選択問題番号マーク 4 0 5 0 6 0	
この解答欄で解答する問題番号を一つマークせよ。 この解答欄で解答する問題番号を一つマークせよ。	
	

*数学II、工業数理、簿記会計I・IIの解答には、この第2面を使用すること。

昭和64年度大学入学者選抜共通第1次学力試験

志願票 [提出用]	
高等学校記入欄 ① 高等学校等コード (高等学校等コード表)により記入 2 1 2 3 4 5 6 7	
② 漢字等記入 (かい書で丁寧に記入すること。) 氏名 男1 女2 昭和 年月日生 (明治、大正)	
③ カタカナ記入 (姓と名の間は、1コマをあけ、濁点及び半濁点は1コマとする。) ⑥ 年号 年月日 M 明治 T 大正 S 昭和	
⑦ 連絡電話番号	
⑧ (郵便番号) (都道府県名) (郡・市名) 現住所 漢字等記入 (区・町村名) (町・丁目・番地・団地・棟・号) (方)	
⑨ (高専卒業見込者(通信制課程を除く。)は、記入しないこと。 ⑩ 都道府県名 郡・市・区・町村 ⑪ カタカナ・数字等記入 ⑫ 都道府県名 郡・市・区・町村 ⑬ 卒業見込・卒業の別 ⑭ 卒業した年 ⑮ 高等学校卒業者以外 ⑯ 課程 ⑰ 学科 ⑱ 卒業見込・卒業の別 1 全日制 2 定時制 3 通信制 1 普通科 2 農業科 3 工業科 4 商業科 5 理数科 6 1外の5学科 179 170 171 172 173 174	
⑲ 受験申請科目 ⑳ 出身学校名 都道府県 ⑷ 現代社会 ⑵ 理科I ⑶ 工業数理 ⑹ 簿記会計I・II 175 176 177 178 国立立公私立	

(注) 記入に当たっては、12、13ページの記入上の注意、14ページの志願票の記入例を参照すること。

※ 檢定料の「納付書・領収証書」のはり付け欄
第一次学力試験
書類在中

印留

書留引受番号

志願者	住所	氏名	出願資格 (該当する資格を ○で囲むこと。)
-----	----	----	------------------------------

高等学校等卒業見込者は、高等学校等を経由して出願することになつてゐる
(ので、この封筒を使用して個人で提出してはいけない。)

検定料の納付手順

- 1 納付書（3枚1組）に、現住所、入学志願者の氏名（漢字、フリガナ）、高等学校等コードを黒又は青のボールペンで正確に記入する。
- 2 納付書（3枚1組）に現金11,000円を添えて、銀行等又は郵便局の窓口に提出する。
- 3 「納付書・領収証書」（一番上の1枚）を受け取り、領収印を確認する。
- 4 「納付書・領収証書」を志願票裏面の所定欄にのり付けする。

（注）

- (1) 納付書の氏名は入学志願者の氏名を記入すること。父兄等が払い込む場合であっても入学志願者の氏名を記入すること。
誤って記入した場合（現住所、高等学校等コードを含む。）は、誤記入部分を二重線で消し、訂正すること。
- (2) 「納付書・領収証書」をのり付けした後に、志願票の記入の誤り等でやむを得ず新しい志願票に書き替えなければならない場合には、「納付書・領収証書」を志願票ごと切り取って、新しい志願票の裏面にのり付けすること。
(検定料を二重に納付してはいけない。)
- (3) ・「納付書・領収証書」を紛失した場合は、大学入試センターに電話で連絡すること。
・誤記入・未記入のまま提出してしまった場合には、大学入試センターに次の事項を「速達郵便はがき」に書いて届け出ること。（連絡先6ページ参照）

- ① 誤記入・未記入の内容（正・誤がわかるように明示する）
- ② 氏名（フリガナを付けること）、現住所、連絡電話番号、高等学校等コード
- ③ 「納付書・領収証書」が手元にある場合にはそのナンバー（住所欄の上にある）

※ 檢定料の「納付書・領収証書」のはり付け欄
納付書・領収証書(領収印のあるもの)の裏面(全面)に「のり」をつけて、はがれないようにはり付けること。

見本[記入例]

領 収 通 知 書		領 収 証 書	
		国 庫 金	
		昭 和 6 3 年 度	國立学校特別会計(025)
取 扱 序 名	大 学 入 試 センター	文 部 省 所 管	(5530)
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入 学 料 及 檢 定 料	
納 付 金 額	1	万 千 百 十	円
納付目的	共通第1次学力試験検定料	上記の金額を 領収しました。	
納付期限	昭和63年11月4日限り	(領收日付印)	
※ 高等学校等コード	153 東京都黒区駒場2-19-23 大学入試センター管理部会計課長	郵便番号	郵便局名
取り扱い	〒152 東京都黒区黒本町1-15-16	郵便局	

(注意) 檢定料を納付せずに出願しても、受理しない。

検定料の納付手順

- 1 納付書(3枚1組)に、現住所、入学志願者の氏名(漢字、フリガナ)、高等学校等コードを黒又は青のボールペンで正確に記入する。

東京都千代田区丸の内二丁目七番一號

東京中央郵便局留置

大学入試センター
試験実施課 行

書留

共通第一次学力試験
出願書類在中

切手470円
をはり付
ること。
(50gまで)

書 留 引 受 番 号

※ 檢定料の「納付書・領収証書」のはり付け欄

納付書・領収証書(領取印のあるもの)の裏面(全面)に「のり」をつけて、はがれないようにはり付けること。

見本(記入例)

納付書・領収証書	
7ページ参照	
検定料納付方法は	
入学志願者本人の氏名であること。 フリガナも必ず記入すること。	
(納入者) ※ 住所 東京都西多摩郡羽村町榮町 6-19-23青葉マッシュ3号室山田三郎方	
※ フリガナ アベ イチロー ※ 氏名 青葉一郎 殿	
※ 高等学校等コード 13283H	
注意 1. 納付金額を明記するときは、※印のところを明るように記入し、納付場所に納付して下さい。なお、高等学校等コードは、受験案内に記載されている高等学校等コード表により記入して下さい。 2. 納付期限後に納付する場合は、受験料を支払いません。 3. 納付したときは、必ず領取証を受け取って下さい。	
◎ この納付書は、3枚1組の複写式となっていますから、3枚とも納付場所に提出して下さい。	
(注) 1 檢定料の納付書が、納付書・領収証書、領取控、領収済通知書の3枚1組であること及び納入者欄の番号が3枚とも同一であることを確認すること。 2 紳付書に、現住所、入学志願者の氏名(漢字、フリガナ)、高等学校等コード(44~62ページ参照)を、黒又は青のボールペンで正確に記入すること。 3 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消し、証正すること。	

(注意) 檢定料を納付せずに出願しても、受理しない。

検定料の納付手順

- 1 納付書(3枚1組)に、現住所、入学志願者の氏名(漢字、フリガナ)、高等学校等コードを黒又は青のボールペンで正確に記入する。

東京都千代田区丸の内二丁目七番二号

東京中央郵便局留置

□□□-□□□

大学入試センター 試験実施課 行



共通第一次学力試験
出願書類在中

切手 470円
はり付け
ること。
(50gまで)

書留引受番号

検定料の納付手順

- 1 納付書（3枚1組）に、現住所、入学志願者の氏名（漢字、フリガナ）、高等学校等コードを黒又は青のボールペンで正確に記入する。

□□□-□□□

東京都千代田区丸の内一丁目七番一號

東京中央郵便局留置

大学入試センター
試験実施課 行

書留

共通第一次学力試験
出願書類在中

切手 470円
をはり付け
ること。
(50gまで)

（度々お見舞いを頂戴する事により、「聖誕会・クリスマス会」
の開催日程を下記の通りとさせて頂く旨を承
うけます。）

※ 高等学校等コード
あて先 郵便番号 153 東京都千代田区駿河台2-19-23
所在地 所属庁名及び
年入微収官 大学入試センター管理部会計課長
取りまとめ 郵便局 〒152 東京都千代田区駿河台1-15-16 目黒郵便局

（領收印付印）

納付期限 昭和63年11月4日限り

志願者	住所	氏名	留引番号

志願者	住所	氏名	出願資格
			高校卒業・大検・外国・指定・認定・在外指定・高専3年 (該当する資格を) (○で囲むこと。)

（高等学校等卒業見込者は、高等学校等を経由して出願することになつてゐる）
ので、この封筒を使用して個人で提出してはいけない。

1 納付書（3枚1組）
を黒又は青のボール

2 納付書（3枚1組）

3 「納付書・領収証」

4 「納付書・領収証」

(注)
(1) 納付書の氏名は
入学志願者の氏名を
誤って記入した場合
消し、訂正すること

(2) 「納付書・領収証」
い志願票に書き替え
り取って、新しい志
(検定料を二重に納付)

(3) 「納付書・領収証」
・誤記入・未記入
「速達郵便はがき」

- | |
|-------------|
| ① 誤記入・未記入 |
| ② 氏名（フリガナ） |
| ③ 「納付書・領収証」 |

次の書類が封入されているか確認の上、発送すること。

昭和64年度共通第1次学力試験志願票・検定料納付者「納付書・領収証書」

(志願票の裏面の所定欄に(は)り付けること。)

出願資格証明書類	高等学校卒業証明書 又は 高等学校以外の学校等の修了（見込み）証明書
	大学入学資格検定合格証書を複写したもの（コピー）又は合格証明書（大学入学資格検定合格者）又は 昭和63年度大学入学資格検定受験出席票等（大学入学資格検定合格見込みの者）
受験申請科目	単位修得証明書 〔工業数理〕「簿記会計I・II」を受験申請する者
志願者の提出書類	身体障害者受験特別措置申請書 及び 医師の診断書（詳細は受験案内（別冊）参照）
志願する大学との協議書（該当者）	

(注) この封筒は1名分のみとし、2名分以上を封入しないこと。

外国语

① 問題冊子の注意事項（見本）

外 国 語

注 意 事 項

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
 - 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりである。

出題科目	ページ	選択方法
英語	~	左の3科目のうちから1科目を
ドイツ語	~	選択し、解答せよ。
フランス語	~	

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
 - 4 監督者の指示に従って、解答用紙の下記の該当欄にそれぞれ正しく記入し、マークせよ。

① 受験番号欄

受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。

② 氏名欄、試験場コード欄

氏名(フリガナ)及び試験場コード(数字及び英字)を記入すること。

③ 解答科目マーク欄・解答科目名欄

解答する科目に一つマークし、さらにその科目名を記入すること。

- 5 受験番号及び解答する科目が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。

6 解答は、解答用紙の解答欄にマークせよ。例えば、20と表示のある問いに
対して③と解答する場合は、次の(例)のように受験番号20の解答欄の③にマーク
せよ。

(例) 解答 番号	解 答 欄
20	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (0)

- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
8 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

② 解答用紙の様式（見本）

外國語解答用紙

氏名(フリガナ)、試験場コードを
記入せよ。

する科目に一つマークし、
その科目名を記入せよ。

社会

(本頁) 社会の問題冊子 ⑤

① 問題冊子の注意事項(見本)

各科別問題		各科別解答欄		各科別					
社会									
倫理、政治・経済									
日本史 世界史 地理									
(100点 60分)									
注意事項 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりである。									
出題科目		ページ	選択方法						
倫理、政治・経済	~	左の4科目のうちから1科目を選択し、解答せよ。							
日本史	~								
世界史	~								
地理	~								
3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。 4 監督者の指示に従って、解答用紙の下記の該当欄にそれぞれ正しく記入し、マークせよ。									
① 受験番号欄 受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。 ② 氏名欄、試験場コード欄 氏名(フリガナ)及び試験場コード(数字及び英字)を記入すること。 ③ 解答科目マーク欄・解答科目名欄 解答する科目に一つマークし、さらにその科目名を記入すること。 5 受験番号及び解答する科目が正しくマークされていない場合は、採点できないことがある。									
6 解答は、解答用紙の解答欄にマークせよ。例えば、 20 と表示のある問い合わせして③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号20の解答欄の③にマークせよ。									
(例) <table border="1"> <tr> <td>解答番号</td> <td>解答欄</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩</td> </tr> </table>						解答番号	解答欄	20	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
解答番号	解答欄								
20	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩								
7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。 8 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。									

② 解答用紙の様式(見本)

社会 解答用紙									
(1) 再試験の実施									
注意事項 1 受験番号、氏名(フリガナ)、試験場コード、解答科目をマークし、記入しなさい。 2 訂正は、消しゴムできれいに消し、消しきずを残してはいけない。 3 所定欄以外にはマークしたり、記入したりしてはいけない。 4 汚したり、折りまげたりしてはいけない。									
氏名(フリガナ)		氏名		解 答 科 目 マーク		解 答 科 目 名			
倫政 理 經濟	日 本 史	世 界 史	地 理	現 代 社 會					
試験場 コード	万位	千位	百位	十位	一位	英字			
	0	0	0	0	0	0			
③ 受験番号欄 受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークせよ。									
④ 受験番号 千位 百位 十位 一位 英字									
⑤ (マーク例) 良い例 悪い例 ● ○ ○ ○									
⑥ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 2 3 4 5 6 7 8 9 0 3 4 5 6 7 8 9 0 4 5 6 7 8 9 0 5 6 7 8 9 0 6 7 8 9 0 7 8 9 0 8 9 0 9 0 10 0 11 0 12 0 13 0 14 0 15 0 16 0 17 0 18 0 19 0 20 0 21 0 22 0 23 0 24 0 25 0 26 0 27 0 28 0 29 0 30 0 31 0 32 0 33 0 34 0 35 0 36 0 37 0 38 0 39 0 40 0 41 0 42 0 43 0 44 0 45 0 46 0 47 0 48 0 49 0 50 0 51 0 52 0 53 0 54 0 55 0 56 0 57 0 58 0 59 0 60 0 61 0 62 0 63 0 64 0 65 0 66 0 67 0 68 0 69 0 70 0 71 0 72 0 73 0 74 0 75 0 76 0 77 0 78 0 79 0 80 0 81 0 82 0 83 0 84 0 85 0 86 0 87 0 88 0 89 0 90 0 91 0 92 0 93 0 94 0 95 0 96 0 97 0 98 0 99 0 100 0									

13 受験に当たっての注意事項

(本頁) 受験の留意事項 ⑤

(1) 試験当日の注意事項

- ア 試験場は受験票で指定するので、指定された試験場で受験すること。
イ 受験者は各自の受験する教科の「受験者入室時刻」(12月下旬に受験票とともに送付する受験者心得を参照)までに試験室に到着すること。

(2) 試験時間中の注意事項

- ア 受験番号、解答科目のマーク等
① 解答用紙の所定欄に受験番号、氏名、試験場コード、解答科目を監督者の指示に従い、必ずマーク、記入すること。
② 受験番号又は解答科目を正しくマークしていない場合は、採点できないことがある。
イ 携行品の使用
① 解答には必ず「Hの黒鉛筆」「プラスチック製の消しゴム」を使用すること。
解答にHの黒鉛筆以外のものを使用した場合には、採点できないことがある。
② 机の上には、「Hの黒鉛筆」「プラスチック製の消しゴム」「鉛筆削り」「時計（計時機能だけのもの）」以外の携行品を置いてはいけない。
③ 「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）」「コンパス」等の補助具の使用は一切認めない。

(3) 試験終了時の注意

- ア 「解答をやめなさい。鉛筆を置きなさい。」と指示があった際は、直ちに解答をやめること。この指示に従わなかった場合には、不正行為とみなされる。監督者が解答用紙を回収し終わるまで、静かに待つこと。
イ 「解答をやめなさい。鉛筆を置きなさい。」と指示があった後は、受験番号あるいは解答科目のマーク忘れ等のいかなる理由があっても、解答用紙の修正、加筆等は認められないので十分承知しておくこと。

14 資料の発表

大学入試センターは、昭和64年度共通第1次学力試験に係る試験問題、正解等を昭和64年1月23日(月)に、報道機関を通じて発表する。
ただし、試験の個人別成績は発表しない。

15 再試験・追試験

(3) 夢が叶うも夢かなうの心不^レふる東京学人さみの書類^レ木村良一 81

(1) 再試験の実施

- ア 再試験は、雪・地震等による災害その他の事情により、昭和64年1月21日(土)、22日(日)に共通第1次学力試験を実施できなかった場合に実施する。
イ 再試験の実施期日は、昭和64年1月28日(土)、29日(日)とし、当日の実施が不可能な場合は、この期日より後にできるだけ速やかに実施する。

(2) 追試験の実施

- ア 追試験は、次の者を対象として行う。
① 疾病・負傷により第1日目、第2日目とも受験できない者。
② 交通事故又は災害等により第1日目又は第2日目の試験が受験できない者、あるいは第1日目、第2日目とも受験できない者。
イ 追試験は、昭和64年1月28日(土)、29日(日)の2日間にわたり行う。
ただし、(1)の再試験をこの期日より後に実施する必要が生じた場合は、再試験と同一の期日に実施する。
ウ 追試験の試験時間、出題教科・科目等は、本試験に準ずる。
エ 追試験の試験場は、全国を2地区に分け、地区ごとに1か所設定する。
なお、追試験の試験場は受験票を送付する際同封する「受験者心得」に明示する。

(3) 追試験の受験申請

- ア 疾病・負傷により受験できない場合
疾病・負傷の場合は、第1日目、第2日目の2日とも受験できない場合に限り認められる。
(注) 共通第1次学力試験を1教科でも受験した後に生じた疾病・負傷（受験中に生じた場合も含む。）は追試験の対象とならないので十分注意すること。
① 本人又は代理人が「受験票」及び「医師の診断書」を持参の上、受験票に記載されている「問い合わせ大学」に行き申請すること。
② 申請の受付は、昭和64年1月20日(金)午前9時から午後5時（それより後の発病等によりやむを得ない場合は、1月21日(土)午前10時から正午）までとし、それ以降の申請は受け付けないので注意すること。
イ 交通事故又は災害等により受験できない場合
交通事故又は災害等（疾病・負傷でない場合）の場合は、第1日目又は第2日目の1日のみ受験できない場合も申請できる。
① 本人又は代理人が交通事故の状況等を、直ちに、受験票に記載されている「試験当日の電話」により、試験場に連絡すること。
② 試験場の係員の指示により、受験票の「問い合わせ大学」に行き申請すること。
③ この申請の受付は、交通事故又は災害等があった日の試験終了時までとする。
この場合、可能な限り受験票を持参すること。

(4) 追試験の受験許可等

- 受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学は、申請に基づき審査の上、追試験受験の可否を速やかに決定し、申請者に対し必要な事項を通知する。

16 身体に障害のある入学志願者及び不慮の事故等による負傷者等

に対する試験実施の際の受験特別措置及び志望大学との協議

(1) 身体に障害のある入学志願者の受験特別措置

ア 身体に障害のある入学志願者が特別の受験措置を希望する場合には、志願者からの申請に基づき、障害の種類・程度に応じて大学入試センターが審査の上、受験に際して特別の措置を行う。イ 受験特別措置を希望する入学志願者は、この「受験案内」のほか身体に障害のある入学志願者用として、別途「受験案内(別冊)」が用意されているので、できるだけ早く下表により大学入試センターに請求すること。

請求方法	郵便はがき(表面に「受験案内(別冊)請求」と朱書)又は電話
請求先	〒153 東京都目黒区駒場2丁目19-23 大学入試センター試験実施課 問い合わせ専用電話 03(465)8600 (平日9時30分~17時、土曜日9時30分~12時)
記載を要する事項	氏名(フリガナ)、現住所、連絡電話番号、在学(又は出身)学校名等

ウ 受験特別措置の内容について質問がある場合は、出願受付前に大学入試センター試験実施課まで問い合わせること。

(2) 出願受付締切後の不慮の事故等による負傷者等の受験特別措置

ア 出願受付締切後の不慮の事故等のため特別の受験措置を希望する場合には、審査の上、身体に障害のある入学志願者に準じた受験特別措置を行う。イ 本人又は代理人が「受験票」及び「医師の診断書」を持参の上、受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学に行き申請すること。

14 資料の発表
受験案内(別冊)の発行
大学入試センターは、昭和44年度大選挙で大学入試に係る試験問題、正解等を昭和45年1月23日(月)に、報道機関を通じて発表する。
ただし、試験の個人別成績は発表しない。

(3) 受験特別措置事項による解答とは、一般的の解答用紙にマークする解答欄と、

ア 視覚障害

特別措置の対象となる者	特別に措置する事項(審査の上認められる事項)			
	解答方法	試験時間	試験室	志願者からの希望により特別に措置する事項の例
① 点字による解答者(注1)	点字による解答	* 1.5倍	別室	* 点字問題冊子 * 点字用解答用紙 ・下書き用紙 * レーズライター
② 強度の弱視者で、良い方の眼の矯正視力が0.15未満の者	文字による解答(注2)	1.3倍	別室	◎文字解答用紙 ◎下書き用紙(理科、数学のみ)
③ 上記以外の視覚障害者	文字による解答	一般志願者と同じ	別室	◎文字解答用紙 ◎下書き用紙(理科、数学のみ)
	一般志願者と同じ	一般志願者と同じ	一般志願者と同じ	

(注1) 出題形式は、点字による出題とする。

点字による解答を認められた者には、該当欄の*を付した特別措置がとられる。

(注2) 「文字による解答」とは、一般的の解答用紙にマークする解答方法に代えて、文字解答用紙に正解とする数字等を記入することにより解答する方法である。文字による解答を認められた者には、該当欄の◎を付した特別措置がとられる。

(注3) 「拡大文字問題冊子」とは、文字の拡大率が一般試験問題の1.4倍(面積倍率2倍)の大きさの冊子である。

正規問題冊子	正規問題冊子	正規問題冊子	正規問題冊子
正規問題冊子	正規問題冊子	正規問題冊子	正規問題冊子
正規問題冊子	正規問題冊子	正規問題冊子	正規問題冊子

イ 聴覚障害

特別措置の対象となる者	特別に措置する事項（審査の上認められる事項）				
	解答方法	試験時間	試験室	試験室で用意されるもの	志願者からの希望により特別に措置する事項の例
・両耳の平均聴力レベルが100デシベル以上の人	手話通訳による解説	1.3倍	別室	* チェック解答用紙 * 下書き用紙（理科、数学のみ）	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者の付与（注1） 注意事項等の文書による伝達（注2） 座席を前列に指定 補聴器の持参使用
・上記以外の聴覚障害者	一般志願者と同じ	一般志願者と同じ	一般志願者と同じ	一般志願者と同じ	<ul style="list-style-type: none"> 注意事項等の文書による伝達 座席を前列に指定 補聴器の持参使用

(注1) 「手話通訳者」とは、国公立の聾学校の教諭等で、試験室において受験者に手話通訳を行う者のことである。

(注2) 「注意事項等の文書による伝達」とは、試験室で監督者が口頭で指示することを文書にし、その都度各受験者に配付するものである。

ウ 肢体不自由

特別措置の対象となる者	特別に措置する事項（審査の上認められる事項）				
	解答方法	試験時間	試験室	試験室で用意されるもの	志願者からの希望により特別に措置する事項の例
・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者	チェックによる解答（注1）	1.3倍	* 別室	* チェック解答用紙 * 下書き用紙（理科、数学のみ）	<ul style="list-style-type: none"> 介助者の付与 試験室を1階に設定 洋式トイレに近接する試験室 特製机の持参使用又は試験場側で準備 車椅子の持参使用 杖の持参使用 試験室入口までの付添者の同伴 試験場への乗用車での入構
・上記以外の肢体不自由者	チェックによる解答	一般志願者と同じ	* 別室	* チェック解答用紙 * 下書き用紙（理科、数学のみ）	
	一般志願者と同じ	一般志願者と同じ	一般志願者と同じ		

高等学校等コード表

1 高等学校等

(注1) 「チェックによる解答」とは、一般の解答用紙にマークする解答方法に代えて、チェック解答用紙に正解とする数字等をチェックすることにより解答する方法である。

チェックによる解答を認められた者には、該当欄の*を付した特別措置がとられる。

(注2) 「介助者」とは、国公立の養護学校の教諭等で、試験室において受験者の介助を行う者のことである。

エ 病弱

特別措置の対象となる者	特別に措置する事項（審査の上認められる事項）				
	解答方法	試験時間	試験室	試験室で用意されるもの	志願者からの希望により特別に措置する事項の例
・慢性的の胸部、心臓、腎臓疾患等の状態が6月以上の医療・生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	一般志願者と同じ	一般志願者と同じ	一般志願者と同じ	一般志願者と同じ	<ul style="list-style-type: none"> 別室の設定 試験室を1階に設定 杖の持参使用 試験室入口までの付添者の同伴 試験場への乗用車での入構

オ 障害を併せもつ場合

特別措置の対象となる者	特別に措置する事項（審査の上認められる事項）
・障害を併せもつ者	・ア～エのそれぞれの該当の欄を参照し、措置を申請すること。

(4) 志望大学との協議及び協議書の提出 (第一回目) (1回)

ア 下表に該当する者は、大学・学部等において修学上特別な措置を必要とすることが起こり得るので、あらかじめ志望する大学と協議を行い、その大学が発行する「志望する大学との協議書（又は協議中であることがわかるもの。）」を出願書類に添付して提出すること。

志望大学との協議を必要とする者の身体障害の程度

(学校教育法施行令第22条の2の規定に準拠した。)

区分	障害の程度
盲者 (強度の弱視者を含む。)	1 両眼の矯正視力が0.1未満のもの 2 両眼の矯正視力が0.1以上0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、点字による教育を必要とするもの又は将来点字による教育を必要とすることとなると認められるもの
聾者 (強度の難聴者を含む。)	1 両耳の聴力損失が90デシベル以上のもの 2 両耳の聴力損失が90デシベル未満50デシベル以上のもののうち、補聴器の使用によっても通常の話声を解することができない又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者 特別措置による者	1 体幹の機能障害が、体幹を支持することが不可能又は困難な程度のもの 2 上肢の機能の障害が、筆記をすることが不可能又は困難な程度のもの 3 下肢の機能の障害が、歩行をすることが不可能又は困難な程度のもの 4 前3号に掲げるもののほか、肢体の機能の障害がこれらと同程度以上のもの 5 肢体の機能の障害が前各号に掲げる程度に達しないもののうち、6月以上の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者 (身体虚弱者を含む。)	1 慢性の胸部疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が6月以上の医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が6月以上の生活規制を必要とする程度のもの

イ 志望する大学との協議については、大学での手続き等に日数を要する場合があるので、遅くとも昭和63年10月15日(土)までに当該大学へ連絡することが望ましい。

ウ アによりあらかじめ協議した大学以外の大学へも出願をする可能性がある者は、当該大学に対しても早めに協議しておくことが望ましい。

エ 高等学校等を卒業した者は、協議に当たって出身学校長と相談することが望ましい。

高等学校等コード表

1 高等学校、盲・聾及び養護学校、高等専門学校

校	成	学	園	13674D	中央大学附属(小金井市)	13738D	豊	南	13695G	市	ケ	尾	14121G	そ	相	武	台	14233G
校	成	学	園	女子	13638H		保	善	13544F	岩	戸	戸	14275B	大	津	津	14209D	
香	蘭	女	学	校	13611F	調	布	13632J	堀	越	13670A	元	衛生短期大学付属二	14114D	高	高	高	14147A
国	学	院		13550A	千代田女学園	13512H	本	郷	13696E	本	保	川	14227B	橋	田	高	14210H	
国学院大学久我山	13675B	つ	鶴	川	13663J	ま	町	田	13616G	在	田	名	14234E	大	多	奈	14219A	
国際基督教大学	13741D	て	帝	京	13700G	帝	京	大	13737F	海	老	井	14260D	大	大	摩	14134J	
国士	館		帝	京	13639F	帝	京	大	13517J	お	大	武	14185C	茅	茅	師	14255H	
駒	込	込	帝	京	13572A	帝	京	八	13553E	大	武	蔵	14241H	茅	茅	崎	14162D	
駒	沢	学	園	女子	13640K	む	静	学	13575F	武	蔵	野	14245A	中	大	崎	14242F	
駒	沢	大	学	園	13641H	田	園	調	布	武	蔵	水	14232J	大	大	北	14163B	
駒	場	学	園	13642F	と	戸	板	雙	葉	武	蔵	野	14176D	大	大	陵	14259A	
駒	場	東	邦	13643D	東	亞	学	園	13562C	大	武	蔵	14270A	長	都	後	14236A	
桜	丘	女	子	13586A	と	戸	板	女	13532B	大	武	蔵	14258B	津	津	岡	14189F	
し	品	川	13612D	東	京	13666C	東	海	大	大	武	蔵	14258B	鶴	鶴	見	14101B	
芝	浦	工	業	大	13524A	東	京	大	13553A	東	海	大	大	鶴	鶴	業	14215J	
芝	浦	工	業	大	13685K	東	京	附	属	東	京	大	大	鶴	鶴	嶺	14164A	
渋	谷	女	子	13552G	東	京	音	楽	附	属	東	京	大	大	鶴	鶴	岡	14206K
修	修	修	修	13605A	東	京	音	楽	附	属	東	京	大	大	鶴	鶴	見	14118G
淑	淑	淑	淑	13697C	東	京	音	楽	附	属	東	京	大	大	鶴	鶴	工	14237K
淑	淑	淑	淑	13573K	東	京	音	楽	附	属	東	京	大	大	鶴	鶴	見	14192F
淑	淑	淑	淑	13691D	東	京	工	業	附	属	東	京	大	大	鶴	鶴	工	14276A
松	松	松	松	13644B	東	京	工	業	附	属	東	京	大	大	鶴	鶴	見	14124A
頌	栄	女子	学	院	13527F	東	京	純	心	子	東	京	大	大	鶴	鶴	工	14224H
昭	和	和	和	13645A	東	京	女	学	館	東	京	大	大	鶴	鶴	嶺	14164A	
昭	和	和	和	13574H	東	京	女	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	見	14118G	
昭	和	第一	第一	13715E	東	京	女	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	工	14174H	
昭	和	和	和	13688D	東	京	女	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	見	14101B	
白	梅	梅	梅	13721K	東	京	女	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	工	14215J	
白	百	合	百	13509H	東	京	電	機	大	東	京	大	大	鶴	鶴	嶺	14164A	
寒	百	百	百	13665E	東	京	農	業	大	東	京	大	大	鶴	鶴	見	14281G	
実	践	践	践	13551J	東	京	農	業	大	東	京	大	大	鶴	鶴	屋	14281G	
自	由	ヶ	丘	学	園	13619A	東	京	文	化	東	京	大	大	鶴	鶴	丘	14246J
自	由	学	園	高等科	13706F	東	京	立	正	東	京	大	大	鶴	鶴	声	14257D	
十	文	文	文	字	13686H	東	京	星	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14207H
順	心	心	心	13526H	東	京	桐	朋	女	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14230B	
順	心	心	心	13587K	東	京	桐	朋	女	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14254K	
潤	潤	潤	潤	13602G	東	京	桐	朋	女	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
城	西	城	城	13687F	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14245K	
城	北	北	北	(私立)	13698A	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E
女	子	学	園	13508K	東	洋	文	化	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14245K	
女	子	学	園	13588H	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
女子	美	学	園	13588H	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14245K	
女子	美術	美術	美術	13677J	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
す	果	果	果	13689F	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14245K	
果	果	果	果	13690F	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
駿	駿	駿	駿	13589F	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14245K	
聖	聖	聖	聖	13590K	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
成	成	成	成	13733C	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14245K	
成	成	成	成	13528D	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
成	成	成	成	13542K	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14245K	
成	成	成	成	13543H	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
成	成	成	成	13646J	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14245K	
成	成	成	成	13529B	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
成	成	成	成	13647G	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14245K	
成	成	成	成	13648E	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
成	成	成	成	13591H	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
成	成	成	成	13613B	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
成	成	成	成	13592F	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
成	成	成	成	13649C	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
修	修	修	修	13678G	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
洗	足	足	足	13620E	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
そ	創	創	創	13722H	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
た	大	成	成	13736H	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
高	高	高	高	13742B	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
高	高	高	高	13743A	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
高	輪	輪	輪	13530F	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
高	輪	商	業	13531D	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
高	輪	商	業	13593D	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
拓	殖	殖	殖	13723F	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
立	立	立	立	13724B	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
立	立	立	立	13716C	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
玉	川	学	園	高等部	13662A	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E
玉	川	学	園	高等部	13651E	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E
大	東	学	園	13650G	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
大	東	文化	第一	13699K	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
ち	中	央	商	業	13520J	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E
中央	大	学	園	13511K	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E	
中央	大	学	杉	並	13679E	東	洋	横	学	園	東	京	大	大	鶴	鶴	曾	14282E

ひ	宇	治	26112C	上	27290G	ひ	東	大	市	立	日	新	27222B	や	八	尾	養	護	27457H		
ひ	舞	鶴	26125E	業	27200A	ひ	東	大	阪	市	立	日	新	27212E	(高等専門学校)					
ふ	吉	丘	26140J	業	27216H	ひ	東	大	商	市	立	日	新	27227C	お	大阪府立	工業高専	27491H			
ほ	北	堀	26148D	業	27214A	は	は	第二	工	市	立	第二	工	業	27217F	私	立				
み	南	峰	26150F	業	27217F	は	は	第二	工	市	立	第二	工	業	27215K	(高等学校)				
む	桃	宮	26159E	業	27215K	は	は	第二	工	市	立	第二	工	業	27213C	や	八	尾	養	護	27457H
や	山	城	26161G	業	27213C	は	は	第二	工	市	立	第二	工	業	27210B	（	盲・聾・養護学校)				
ら	八	洛	26164H	業	27210B	は	は	第二	工	市	立	第二	工	業	27209C	（	盲・聾・養護学校)				
ら	洛	洛	26163C	業	27209C	は	は	第二	工	市	立	第二	工	業	27208E	（	盲・聾・養護学校)				
り	洛	陽	26163A	業	27208E	は	は	第二	工	市	立	第二	工	業	27207F	（	盲・聾・養護学校)				
上記以外の高等学校等	26999K																				

な	浪	浪	浪	浪	速	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	（高等専門学校)
ひ	波	波	波	波	花	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	（高等専門学校)
は	羽	羽	羽	羽	衣	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	（高等専門学校)
か	初	初	初	初	古	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	（高等専門学校)
ひ	東	東	東	東	古	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	（高等専門学校)
ふ	北	堺	堺	堺	古	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	（高等専門学校)
ほ	堺	堺	堺	堺	古	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	（高等専門学校)
み	峰	峰	峰	峰	古	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	（高等専門学校)
む	宮	宮	宮	宮	古	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	（高等専門学校)
や	山	山	山	山	古	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	（高等専門学校)
ら	八	八	八	八	古	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	（高等専門学校)
ら	洛	洛	洛	洛	古	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	（高等専門学校)
り	洛	洛	洛	洛	古	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	（高等専門学校)
上記以外の高等学校等	26999E																		

(高等学校)	
え 愛媛大学農学部附属	38001G
農業	
(盲・聾・養護学校)	
え 愛媛大学教育学部附	38051C
属養護	
(高等専門学校)	
に 新居浜工業高専	38091B
ゆ 弓削商船高専	38092A
公立	
(高等学校)	
い 今治工	38115C
い 今治工	38116A
い 今治工	38113G
い 今治工	38113F
い 今治工	38114E
伊 予農	38154D
う 内子農	38136F
宇 和島水	38146C
宇 和島水	38144G
宇 和島水	38145E
お 大洲農	38133A
大 三島農	38120K
小 田	38130G
か 上川浮穴	38129C
川 之江	38101C
き 北宇	38149H
こ 小西条農	38108A
さ 西条農	38109J
た 丹原島	38112J
つ 東島	38150A
と 東温	38128E
東 東予工	38111A
土 土居	38103K
な 長山	38132C
に 新居浜	38135H
新 居浜	38107B
新 居浜	38152H
新 居浜	38105F
の 伯野	38143J
は ほ松山	38118H
ま 松山	38125A
み 松山	38126J
松山	38127G
山 中央	38155B
山 西	38123D
山 東	38122F
み 山	38124B
三 嶺	38140D
む 室	39102G
南 宇	38102A
あ 宇和	38151K
や 八幡	38138B
ゆ 弓削	38119F
よ 吉田	38147A
(盲・聾・養護学校)	
う 宇和	38453E
た 第一養	38454C
第 二養	38456K
ま 松山	38451J
松山	38452G
私立	

(高等学校)	
あ 愛光	38505A
い 今治精華	38501J
い 今治明徳	38502G
え 愛媛女子	38511F
さ 济媛子	38509D
せ セト土	38508F
せ セント土	38510H
て 帝京第一	38510H
に 新松山	38503E
ま 松山	38507H
め めい佐	39509K
(盲・聾・養護学校)	
上記以外の高等学校等	38999E
高知県	
國立	
福岡県	
(盲・聾・養護学校)	
(高等専門学校)	
あ 有明工業高専	40093K
い 九州工業高専	40091C
く 久留米工業高専	40092A
公 立	
(高等学校)	
あ 朝倉農業	40173A
い 朝倉農業	40175H
こ 朝倉農業	40174K
は 朝倉農業	40190A
多 木方	40199E
い 木方	40214B
こ 木方	40218E
は 木方	40219A
九 州女子	4025G
九 州女子	40504D
九 州女子	40515E
九 州女子	40520F
九 州女子	40525G
九 州女子	40540D
九 州女子	40545E
九 州女子	40551E
九 州女子	40561F
九 州女子	40570F
九 州女子	40575H
九 州女子	40580H
九 州女子	40595F
九 州女子	40600F
九 州女子	40605B
九 州女子	40610G
九 州女子	40615H
九 州女子	40620G
九 州女子	40625H
九 州女子	40630H
九 州女子	40635H
九 州女子	40640H
九 州女子	40645H
九 州女子	40650H
九 州女子	40655H
九 州女子	40660H
九 州女子	40665H
九 州女子	40670H
九 州女子	40675H
九 州女子	40680H
九 州女子	40685H
九 州女子	40690H
九 州女子	40695H
九 州女子	40700H
九 州女子	40705H
九 州女子	40710H
九 州女子	40715H
九 州女子	40720H
九 州女子	40725H
九 州女子	40730H
九 州女子	40735H
九 州女子	40740H
九 州女子	40745H
九 州女子	40750H
九 州女子	40755H
九 州女子	40760H
九 州女子	40765H
九 州女子	40770H
九 州女子	40775H
九 州女子	40780H
九 州女子	40785H
九 州女子	40790H
九 州女子	40795H
九 州女子	40800H
九 州女子	40805H
九 州女子	40810H
九 州女子	40815H
九 州女子	40820H
九 州女子	40825H
九 州女子	40830H
九 州女子	40835H
九 州女子	40840H
九 州女子	40845H
九 州女子	40850H
九 州女子	40855H
九 州女子	40860H
九 州女子	40865H
九 州女子	40870H
九 州女子	40875H
九 州女子	40880H
九 州女子	40885H
九 州女子	40890H
九 州女子	40895H
九 州女子	40900H
九 州女子	40905H
九 州女子	40910H
九 州女子	40915H
九 州女子	40920H
九 州女子	40925H
九 州女子	40930H
九 州女子	40935H
九 州女子	40940H
九 州女子	40945H
九 州女子	40950H
九 州女子	40955H
九 州女子	40960H
九 州女子	40965H
九 州女子	40970H
九 州女子	40975H
九 州女子	40980H
九 州女子	40985H
九 州女子	40990H
九 州女子	40995H
九 州女子	41000H
九 州女子	41005H
九 州女子	41010H
九 州女子	41015H
九 州女子	41020H
九 州女子	41025H
九 州女子	41030H
九 州女子	41035H
九 州女子	41040H
九 州女子	41045H
九 州女子	41050H
九 州女子	41055H
九 州女子	41060H
九 州女子	41065H
九 州女子	41070H
九 州女子	41075H
九 州女子	41080H
九 州女子	41085H
九 州女子	41090H
九 州女子	41095H
九 州女子	41100H
九 州女子	41105H
九 州女子	41110H
九 州女子	41115H
九 州女子	41120H
九 州女子	41125H
九 州女子	41130H
九 州女子	41135H
九 州女子	41140H
九 州女子	41145H
九 州女子	41150H
九 州女子	41155H
九 州女子	41160H
九 州女子	41165H
九 州女子	41170H
九 州女子	41175H
九 州女子	41180H
九 州女子	41185H
九 州女子	41190H
九 州女子	41195H
九 州女子	41200H
九 州女子	41205H
九 州女子	41210H
九 州女子	41215H
九 州女子	41220H
九 州女子	41225H
九 州女子	41230H
九 州女子	41235H
九 州女子	41240H
九 州女子	41245H
九 州女子	41250H
九 州女子	41255H
九 州女子	41260H
九 州女子	41265H
九 州女子	41270H
九 州女子	41275H
九 州女子	41280H
九 州女子	41285H
九 州女子	41290H
九 州女子	41295H
九 州女子	41300H
九 州女子	41305H
九 州女子	41310H
九 州女子	41315H
九 州女子	41320H
九 州女子	41325H
九 州女子	41330H
九 州女子	41335H
九 州女子	41340H
九 州女子	41345H
九 州女子	41350H
九 州女子	41355H
九 州女子	41360H
九 州女子	41365H
九 州女子	41370H
九 州女子	41375H
九 州女子	41380H
九 州女子	41385H
九 州女子	41390H
九 州女子	41395H
九 州女子	41400H
九 州女子	41405H
九 州女子	41410H
九 州女子	41415H
九 州女子	41420H
九 州女子	41425H
九 州女子	41430H
九 州女子	41435H
九 州女子	41440H
九 州女子	41445H
九 州女子	41450H
九 州女子	41455H
九 州女子	41460H
九 州女子	41465H
九 州女子	41470H
九 州女子	41475H
九 州女子	41480H
九 州女子	41485H
九 州女子	41490H
九 州女子	41495H
九 州女子	41500H
九 州女子	41505H
九 州女子	41510H
九 州女子	41515H
九 州女子	41520H
九 州女子	41525H
九 州女子	41530H
九 州女子	41535H
九 州女子	41540H
九 州女子	41545H
九 州女子	41550H
九 州女子	

大分電波	44516K	(高等学校)
大分東明	44504F	
し昭和女子	44510A	
せ屬城	44506B	こ小林西45510F
た竹田南	44515A	に日本学園45511D
と藤藻	44507A	の延岡学園45507F
な中津	44514C	ひ日向学院45512B
に日本文理大学附属	44513E	み緑ヶ丘学園45513A
へ別府女子短期大学付	44511J	都城45508D
属別府大学附属	44509G	す木川内45509B
み明星	44505D	た財商46148C
や柳ヶ浦	44508J	宮崎女子45501G
上記以外の高等学校等	44999H	宮崎崎45502E
宮崎県		宮崎中央45504A
國立		宮崎日本大学45503C
(高等専門学校)		上記以外の高等学校等 45999C
み都城工業高専	45091A	
公立		
(高等学校)		
い飯野	45139J	か鹿児島大学教育学部 46051G
か門川農業	45107A	附属養護
こ小林工芸	45136D	(高等専門学校)
小林商業	45137B	か鹿児島工業高専 46091F
小林商業	45138A	公立
さ西都商業	45115A	(高等学校)
佐土原	45143G	あ阿久根 46132G
た高城	45135F	高千穂 45101A
高鍋農業	45112G	高鍋農業 46133E
高原畜産	45113E	奄美明 46152A
つ都農業	45111J	い伊佐農林 46139D
妻富田島	45114C	伊集院 46122K
と富田島	45108J	ふ北部工農 46126H
に日本南工業	45125J	ほ北中部農業 46136E
日本振徳商業	45126G	ま前真和志 47107A
日本振徳商業	45128C	み美里工古 47129B
の延岡工業	45102K	私立
延岡工業	45104F	(高等学校)
延岡商業	45105D	え頸口 46112B
延岡第二	45106B	お大口明光学園 46151B
延岡西	45103H	も日本重山 47116A
延岡東	45141A	か鹿児島工農 46150C
ひ日本向工業	45110A	や八重山 47121G
日本向工業	45109G	か鹿児島東工農 46167K
ふ福島鳥	45129A	八重山農業 47137C
ほ本庄	45116K	よ与読 47111K
み都城泉州ヶ丘	45130E	(盲・聾・養護学校)
都城工業	45134H	お大平養護 47454B
都城商業	45133K	沖縄繩 47452F
都城西	45132A	か鏡が丘養護 47453D
都城農業	45131C	鹿児島第一 46516A
宮崎大宮	45117H	鹿児島第二 46516A
宮崎北	45142J	鹿児島電子工業 46507A
宮崎工業	45118F	加治木女子 46509H
宮崎商業	45122D	鹿児島中央 46103C
宮崎水産	45121F	鹿児島西 46109B
宮崎崎	45120H	鹿屋中 46519E
宮崎農業	45123B	鹿屋西 46106H
宮崎崎	45124A	鹿屋南 46108D
宮崎崎	45119D	し志布志実業 46520J
(盲・聾・養護学校)		沙 46115G
の延岡養護	45454A	せ川内実業 46512H
延岡ろうう	45451G	木 46143B
み都城ろうう	45453C	と徳之島商工 46517J
宮崎赤江養護	45456H	加治木野 46508K
も盲栗良商	45452E	加治木野 46116E
私立		鹿屋工農 46155F
		鹿屋工農 46157B
		鹿屋女子 46181E
		蒲生農業 46142D
		蒲邊 46118A
		(高等学校)
		い石川 47113F
		糸満 47101B
		上記以外の高等学校等 47999D
		沖縄県
公立		

2 外国の学校等、在外教育施設、文部大臣の指定及び大学入学資格検定等

大検 51000K	「大検」とは、大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部大臣が行う大学入学資格検定に合格した者及び昭和64年3月31日までに合格見込みの者
外國 52000E	「外国」とは、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び昭和64年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定したもの
指定 53000A	「指定」とは、文部大臣の指定した者
認定 54000F	「認定」とは、その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
在外指定 55000A	「在外指定」とは、文部大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び昭和64年3月31日までに修了見込みの者

〔参考①〕

昭和64年度国立大学第2次試験実施方式・日程グループ表

国立大学協会まとめ

地区	連続方式		分離分割方式
	A日程グループ (2月28日から)	B日程グループ (3月5日から)	
北海道	室蘭工業大学(工学部第一部) 小樽商科大学 帯広畜産大学 旭川医科大学 北見工業大学	北海道大学 北海道教育大学 室蘭工業大学(工学部第二部)	前期日程・後期日程グループ (前期2月28日から) (後期3月16日から)
東北	弘前大学 宮城教育大学 山形大学 福島大学	岩手大学 東北大學 秋田大学	
関東・甲信越	図書館情報大学 筑波大学(医学・体育・芸術各専門学群) 宇都宮大学 群馬大学 埼玉大学 東京外国语大学 東京学芸大学 東京商船大学 横浜国立大学(経済・経営学部の定員の一部) 長岡技術科学大学 山梨大学 信州大学	茨城大学 筑波大学(第一・第二、第三各学群) 千葉大学 東京大学 東京医科歯科大学 東京農工大学 東京芸術大学 東京工業大学 東京水産大学 お茶の水女子大学 電気通信大学 一橋大学 横浜国立大学(全学部、経済・経営学部のA日程の一部定員を除く) 新潟大学 上越教育大学 山梨医科大学	
中部	金沢大学 福井医科大学 岐阜大学 名古屋大学(全学部、経済学部のB日程の一部定員を除く) 愛知教育大学 豊橋技術科学大学	富山大学 富山医科大学 福井大学 静岡大学 浜松医科大学 名古屋大学(経済学部の定員の一部) 名古屋工业大学 三重大学	
近畿	滋賀大学(教育学部) 京都教育大学 大阪外国语大学 奈良教育大学 奈良女子大学(理・家政両学部)	滋賀大学(経済学部) 滋賀医科大学 京都大学(法学部) 京都工芸繊維大学 大阪教育大学 神戸商船大学 兵庫教育大学 和歌山大学	京都大学(文・教育・経済・理・医・薬・工・農各学部) 大阪大学 神戸大学 奈良女子大学(文学部)
中国・四国	鳥取大学(医学部) 島根大学 岡山大学(教育・法(B日程を除く)・同第二部・経済・同第二部・理・医・歯・農各学部) 広島大学(文・法・同第二部・理各学部) 山口大学(人文・教育・理・医・工・農各学部) 徳島大学 鳴門教育大学 香川大学(経済学部の定員の一部) 香川医科大学 高知大学	鳥取大学(教育・農両学部) 島根医科大学 岡山大学(法学部のA日程の一部定員を除く) 香川大学(全学部、経済学部のA日程の一部定員を除く) 愛媛大学 高知医科大学	鳥取大学(工学部) 岡山大学(文・薬・工各学部) 広島大学(総合科学・教育・学校教育・経済・同第二部・医・歯・工・生物生産各学部) 山口大学(経済学部)
九州	福岡教育大学 九州大学(文・経済・理・医・歯・薬・工・農各学部) 九州芸術工科大学 長崎大学 大分医科大学 宮崎大学 琉球大学	九州工業大学 佐賀大学 佐賀医科大学 熊本大学 大分大学 宮崎医科大学 鹿児島大学 鹿屋体育大学	九州大学(教育・法両学部)

(備考) 各大学の具体的な実施日程等については、各大学の募集要項により必ず確認すること。

〔参考②〕

昭和64年度公(私)立大学第2次試験日程グループ表

昭和63年5月20日
公立大学協会まとめ

地区	A日程グループ (2月28日から)	B日程グループ (3月5日から)	C日程群グループ (3月8日以降、3月16日～18日を除く。特例3月7日)
北海道			
東北			
関東・甲信越			
中部	東京都立科学技術大学※ 横浜市立大学(商)	東京都立大学 横浜市立大学(文理・医) 群馬県立女子大学	高崎経済大学 都留文科大学
近畿	愛知県立大学(文) 愛知県立芸術大学 静岡県立大学(経営情報・国際関係 ・食品栄養科学)	愛知県立大学(外国語) 愛知県立芸術大学 名古屋市立大学(医・経済) 金沢美術工芸大学 名古屋市立大学(経済)	愛知県立芸術大学 名古屋市立大学(薬) 静岡県立大学(薬) 岐阜薬科大学 金沢美術工芸大学
中国・四国	京都府立医科大学 大阪女子大学 大阪市立大学(全) 大阪府立大学(農・経済・総合科・ 社会福祉) 神戸市外国语大学 神戸商科大学(全) 奈良県立医科大学	京都府立大学 京都市立芸術大学※ 大阪市立大学(経済I) 神戸商科大学(全) 姫路工業大学 和歌山県立医科大学	大阪府立大学(工)
九州	下関市立大学 山口女子大学	広島女子大学 高知女子大学※	下関市立大学
私立	九州歯科大学 熊本女子大学	北九州大学 福岡女子大学 長崎県立国際経済大学 沖縄県立芸術大学	
備考	(1) 愛知県立芸術大学は、A・B・Cのいずれにも属するが、専攻別の詳細は未定。 (2) 金沢美術工芸大学は、美術学科の油絵専攻はB、日本画・彫刻・芸術学専攻はCで実施、産業美術学科はCで実施。 (3) 表中の※印は「見込み」を意味する。		

(注) 各大学の具体的な実施日程等については、各大学の募集要項により必ず確認すること。

参考③

参考③

国公(私)立大学所在地等一覧

大 学 名	所 在 地	電 話 番 号 (内線番号)
北 海 道 大 学	〒060 札幌市北区北8条西5丁目	(011)716-2111 3961~2
北 海 道 教 育 大 学	札幌分校 〒002 札幌市北区あいの里5条3丁目1番 函館分校 〒040 函館市八幡町1番2号 旭川分校 〒070 旭川市北門町9丁目 釧路分校 〒085 釧路市城山1丁目15番55号 岩見沢分校 〒068 岩見沢市緑が丘2丁目34番地の1	(011)778-8811 309-310 (0138)41-1121 219-220 (0166)51-6151 220~222 (0154)41-6161 200-221 (0126)22-1470 226-227
室 蘭 工 業 大 学	〒050 室蘭市水元町27番1号	(0143)44-4181 484
小 檜 商 科 大 学	〒047 小樽市緑3丁目5番21号	(0134)23-1101 535
帶 広 畜 産 大 学	〒080 帯広市稻町西2線11番地	(0155)48-5111 445
旭 川 医 科 大 学	〒078 旭川市西神楽4線5号3-11	(0166)65-2111 2214
北 見 工 業 大 学	〒090 北見市公園町165番地	(0157)24-1010 247
弘 前 大 学	〒036 弘前市文京町1	(0172)36-2111 2392~3
岩 手 大 学	〒020 盛岡市上田3丁目18番8号	(0196)23-5171 2251
東 北 大 学	〒980 仙台市平2丁目1番1号	(022)227-6200 3204~5
宮 城 教 育 大 学	仙台市荒巻字青葉	(022)222-1021 247
秋 田 大 学	〒010 秋田市手形学園町1番1号	(0188)33-5261 256
山 形 大 学	〒990 山形市小白川町1丁目4-12	(0236)31-1421 2095
福 島 大 学	〒960-12 福島市松川町浅川字直道2番地	(0245)48-5151 253~8
茨 城 大 学	〒310 水戸市文京2丁目1番1号	(0292)26-1621 253~4
図 書 館 情 報 大 学	〒305 茨城県つくば市春日1-2	(0298)52-0511 236
筑 波 大 学	茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1	(0298)53-2208
宇 都 宮 大 学	〒321 宇都宮市峰町350番地	(0286)36-1515 621
群 馬 大 学	群馬県前橋市荒巻町4丁目2番地	(0272)32-1611 321
埼 玉 大 学	埼玉県和光市大久保255	(0488)52-2111 2186~7
千 葉 大 学	千葉市弥生町1番33号	(0472)51-1111 2107
東 京 大 学	〒113 文京区本郷7丁目3番1号	(03)812-2111 2082~4
東 京 医 科 薬 科 大 学	文京区湯島1丁目5番45号	(03)813-6111 2255
東 京 外 国 語 大 学	文京区西ヶ原4丁目51番21号	(03)917-6111 315
東 京 学 芸 大 学	文京区大塚2丁目1番1号	(0423)25-2111 2254~2268
東 京 農 工 大 学	文京区大塚2丁目1番1号	(0423)64-3311 539
東 京 芸 術 大 学	文京区上野公園12-8	(03)828-6111 267
東 京 工 業 大 学	文京区上野公園12-8	(03)726-1111 2066~7
東 京 商 船 大 学	目黒区大岡山2丁目12番1号	(03)641-1171 265
東 京 水 産 大 学	江東区越中島2丁目1番6号	(03)471-1251 226
お 茶 の 木 女 子 大 学	港区港南4丁目5番7号	(03)943-3151 291~2
電 気 通 信 大 学	文京区大塚2丁目1番1号	(0424)83-2161 2544
一 橋 大 学	文京区大塚2丁目1番1号	(0425)72-1101 322~3
横 浜 国 立 大 学	横浜市保土ヶ谷区常盤台156	(045)335-1451
新 潟 大 学	新潟市五十嵐2丁目8050番地	(025)262-6098
長 岡 技 術 科 学 大 学	長岡市上富岡町1603-1	(0258)46-6000 2179
上 越 教 育 大 学	上越市山屋敷1番地	(0255)22-2411 293~4
富 山 大 学	富山市五福3190番地	(0764)41-1271 2497
富 山 医 科 薬 科 大 学	富山市杉谷2630番地	(0764)34-2281 2148~9
金 沢 大 学	金沢市丸の内1番1号	(0762)62-4281 290
福 井 大 学	福井市文京3丁目9番1号	(0776)23-0500 248
福 井 医 科 大 学	福井県吉田郡松岡町下合月23-3	(0776)61-3111 2150
山 梶 大 学	甲府市武田4丁目4-37	(0552)52-1111 2415
山 梶 医 科 大 学	山梨県中巨摩郡玉穂町下河東1110番地	(0552)73-1111 2097
信 州 大 学	松本市旭3丁目1番1号	(0263)35-4600 2274
岐 阜 大 学	岐阜市柳戸1番1	(0582)30-1111 2352~3
静 岡 大 学	静岡市大谷836	(0542)37-1111 2650~2
浜 松 医 科 大 学	浜松市半田町3600番地	(0534)35-2205
名 古 屋 大 学	名古屋市千種区不老町	(052)781-5111 3672
愛 知 教 育 大 学	刈谷市井ヶ谷町広沢1	(0566)36-3111 279
名 古 屋 工 業 大 学	名古屋市昭和区御器所町	(052)732-2111 288
豊 橋 技 術 科 学 大 学	豊橋市天白町字雲雀ヶ丘1-1	(0532)47-0111 333
三 重 大 学	津市上浜町1515	(0592)32-1211 2183
滋 賀 大 学	彦根市馬場1丁目1-1	(0749)22-5600 302
滋 賀 医 科 大 学	箕面市栗生間谷東8-1-1	(0775)48-2071
京 都 大 学	京都市左京区吉田本町	(075)751-2111 2523~4
京 都 教 育 大 学	京都市伏見区深草藤森町1	(075)641-9281 270~1
京 都 工 芸 維 一 大 学	京都市左京区松ヶ崎橋上町	(075)791-3211 255
大 阪 大 学	吹田市山田丘1-1	(06)877-5111 2181~5-2187~8
大 阪 外 国 語 大 学	箕面市栗生間谷東8-1-1	(0727)28-3111 105
大 阪 教 育 大 学	大阪市天王寺区南河堀町4-88	(06)771-8131 326
兵 庫 教 育 大 学	兵庫県加東郡社町下久米942-1	(0795)44-1101 261~2
神 戸 大 学	神戸市灘区六甲台町1-1	(078)881-1212 2621~2
神 戸 商 船 大 学	神戸市東灘区深江南町5-1-1	(078)453-2332 244

大 学 名	所 在 地	電 話 番 号 (内線番号)
奈 良 教 育 大 学	奈良市高畠町	(0742)26-1101 262
奈 良 女 子 大 学	奈良市北魚屋東町	(0742)23-1131 222
和 歌 山 大 学	和歌山市栄谷930	(0734)54-0361 2415~6
鳥 取 大 学	鳥取市湖山町南4丁目101	(0857)28-0321 2413
島 根 大 学	松江市西川津町1060	(0852)21-7100 245
島 根 科 大 学	出雲市塩冶町89-1	(0853)23-2111 2167
岡 山 大 学	岡山市津島中1-1-1	(0862)52-1111 696
広 島 大 学	広島市中区東千田町1丁目1-89	(082)241-1221 3814
山 口 大 学	山口市大字吉田1677の1	(0839)22-6111 278
徳 島 大 学	徳島市新蔵町2丁目24	(0886)22-5131 653
鳴 門 教 育 大 学	鳴門市鳴門町高島	(0886)87-1311 271~2
香 川 大 学	高松市幸町1-1	(0878)61-4141 280
香 川 医 科 大 学	香川県木田郡三木町大字池戸1750-1	(0878)98-5111 2253
愛 媛 大 学	松山市文京町3番	(0899)24-7111 2189
高 知 大 学	高知市曙町2丁目5-1	(0888)44-0113 166~7
高 知 医 科 大 学	高知市岡豊町小蓮	(0888)66-5811 2425
福 岡 教 育 大 学	宗像市大字赤間729	(0940)32-2381 233
九 州 大 学	福岡市東区箱崎6-10-1	(092)641-1101 2341~2
九 州 豊 工 科 大 学	福岡市南区塙原4丁目9-1	(092)541-1431 243
九 州 工 業 大 学	北九州市戸畠区仙水町1-1	(093)871-1931 675
佐 賀 大 学	佐賀市本庄町1	(0952)24-5191 2177
佐 賀 医 科 大 学	佐賀市鍋島大字鍋島三本杉	(0952)31-6511 3130~1
長 崎 大 学	長崎市文教町1-14	(0958)47-1111 2220~1
熊 本 大 学	熊本市黒髪2丁目40-1	(096)344-2111 2145~6
大 分 大 学	大分市大字日野原700番地	(0975)69-3311 259
大 分 医 科 大 学	大分県大分郡挾間町医大ケ岡1丁目1506	(0975)49-4411 2540
宮 崎 大 学	宮崎市学園木花台西1丁目1番地	(0985)58-2811 2540~1
宮 崎 医 科 大 学	宮崎県宮崎郡清武町大字木原5200	(0985)85-1510 2077
鹿 儿 島 大 学	鹿児島市郡元1丁目21番24号	(0992)54-7141 2440~2
鹿 屋 体 育 大 学	鹿屋市白水町1番地	(0994)46-4118 281
琉 球 大 学	琉球県沖縄県頭郡西原町字千原1	(09889)5-2221 2117
公 立 大 学		
札 帚 医 科 大 学	札幌市中央区南1条西17丁目291	(011)611-2111 2154
訓 路 公 立 大 学	釧路市芦野4丁目1番1号	(0154)37-3211
福 島 県 立 医 科 大 学	福島市光が丘1番地	(0245)48-2111 2043
群 馬 県 立 女 子 大 学	群馬県佐波郡玉村町大字上之手1395番1	(0270)65-8511 210
高 崎 絏 済 大 学	高崎市上並木町1300	(0273)43-5417 219~220
東 京 都 立 大 学	目黒区八雲1丁目1番1号	(03)717-0111 2210
東 京 都 立 科 学 技 术 大 学	日野市旭が丘6丁目6番地	(0425)83-5111 208
横 浜 市 立 大 学	横浜市金沢区瀬戸22番2号	(045)787-2055
金 沢 美 術 工 芸 大 学	金沢市立野5丁目11番1号	(0762)62-3531 225
都 留 文 科 大 学	都留市田原3丁目8番1号	(0554)43-4341 207~8
岐 阜 莱 科 大 学	岐阜市三田洞東5丁目6-1	(0582)37-3931 212
静 岡 県 立 大 学	静岡市谷395番地	(0542)64-5007
愛 知 県 立 大 学	名古屋市瑞穂区高田町3-28	(052)851-2191 205
愛 知 県 立 芸 術 大 学	愛知県爱知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1	(05616)2-1180 219
名 古 屋 市 立 大 学	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1	(052)851-5511 2128~9
京 都 市 立 芸 術 大 学	京都市西京区大枝沓掛町13-6	(075)332-0701 231~2
京 都 府 立 大 学	京都市左京区下鴨半木町1番地	(075)781-3131 137
京 都 府 立 医 科 大 学	京都市上京区河原町通広小路上がる桜井町465	(075)251-5227
大 阪 女 子 大 学	堺市大仙町2番1	



納付書・領収証書

国 庫 金

(納入者)	No. 3012516				
※ 住 所	〒				
※ フリガナ					
氏 名	殿				
※ 高等学校等コード					
注意					
1. 納付金額を納付するときは、※印のところを明りょうに記入し、納付場所に納付して下さい。なお、高等学校等コードは、受験案内に記載されている高等学校等コード表により記入して下さい。 2. 納付期限後に納付することはできません。 3. 納付したときは、必ず領収証書を受け取って下さい。					

昭和63年度	国立学校特別会計(025)	文部省所管			
取扱庁名 大学入試センター(5530)					
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料			
納付金額	万	千	百	十	円
	1	1	0	0	0
納付目的 共通第1次学力試験検定料			上記の金額を 領収しました。		
納付期限 昭和63年11月4日限り			(領収日付印)		
納付場所 日本銀行本店、支店、代理店 又は歳入代理店 郵便局					

◎ この納付書は、3枚1組の複写式となっていますから、3枚とも納付場所に提出して下さい。

領 収 控

国 庫 金

(納入者)

No 3012516

※ 住 所 〒

※ フリガナ

氏 名

※ 高 等 学 校 等 コ ー ド

昭 和 6 3 年 度 国立学校特別会計(025) 文部省所管

取 扱 序 名 大 学 入 試 セン タ ー (5530)

授業料及入学検定料 授業料及入学検定料 入学料及検定料

納 付 金 額 万 千 百 十 円
1 1 0 0 0上記の金額を
納付目的 共通第1次学力試験検定料 領収しました。

納付期限 昭和63年11月4日限り

(領収日付印)